

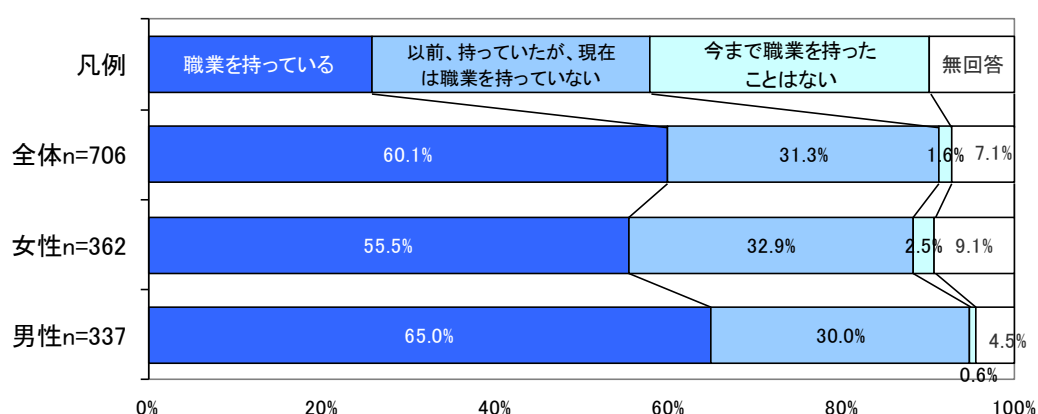
第3章 職業と健康について

1 職業の有無

問7 あなたは現在、職業を持っていますか(パート、アルバイト、家業の手伝いも含みます。ただし、学生アルバイトは含みません)。次の中から1つを選び○をつけてください。

<全体の結果>

現在、「職業を持っている」が全体の60.1%を占めており、「以前、職業を持っていたが、現在は、職業を持っていない」31.3%、「今まで職業を持ったことはない」1.6%となっている。



<前回との比較>

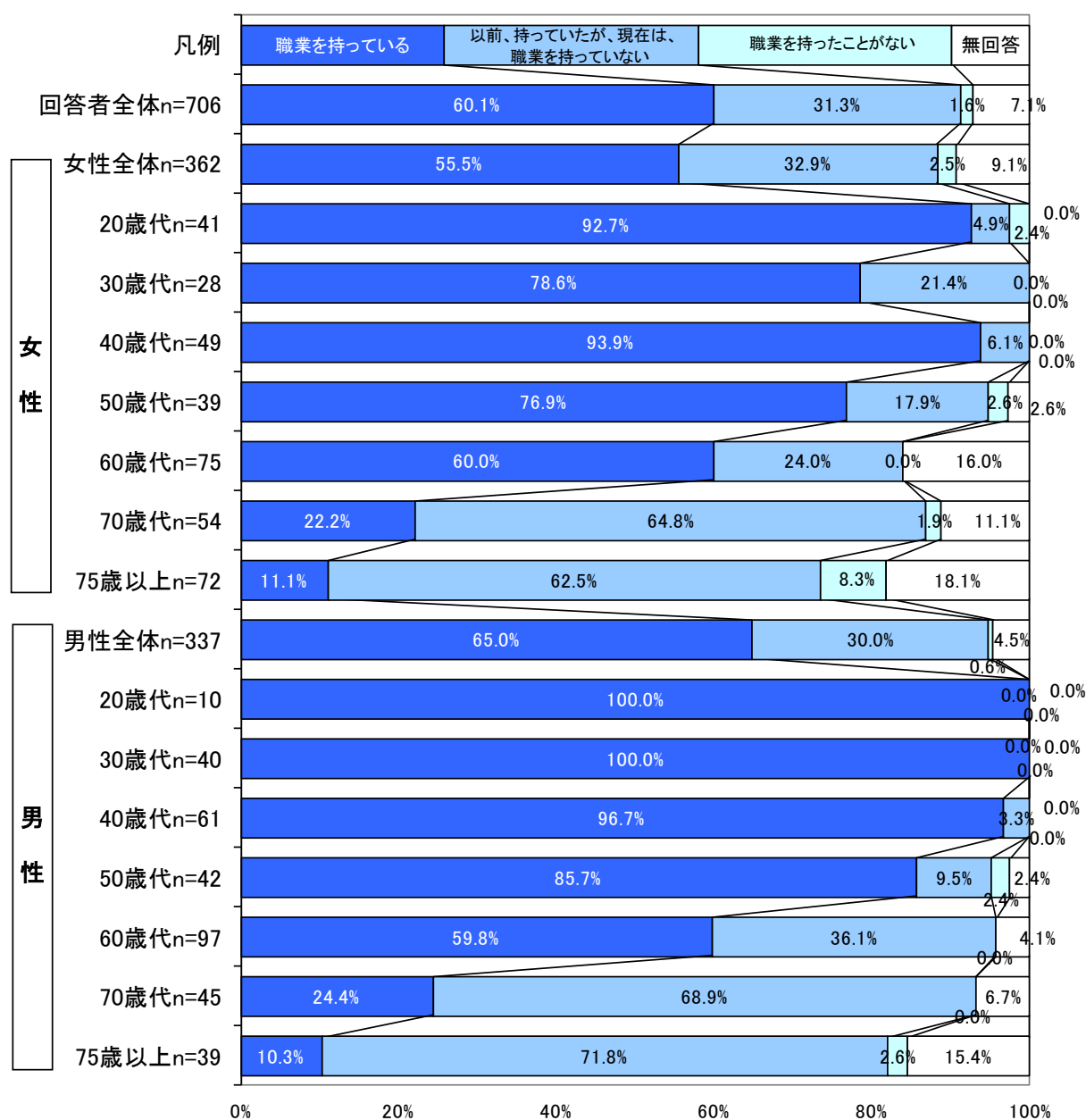
平成23年調査と比較して「職業を持っている」の割合に変化は認められない。「以前、職業を持っていたが、現在は、職業を持っていない」は9.2ポイント増加しているが、その分、「無回答」の割合が23年の16.1%から9.0ポイント減少している。

	平成23年 n=787 %	平成28年 n=706 %
職業を持っている	61.0	60.1
以前、職業を持っていたが、現在は、職業を持っていない	22.1	31.3
今まで職業に持ったことはない	0.8	1.6
無回答	16.1	7.1
合計	100.0	100.0

<性別及び性・年代別にみた結果>

性別にみると、「男性」は「女性」と比べ「職業を持っている」の割合が 9.5 ポイント高くなっている。

性・年代別にみると、男女とも『20～40 歳代』で「職業を持っている」の割合が極めて高く、特に「男性」の割合が高くなっている。「女性」の「30 歳代」と「50 歳代」で「職業を持っている」は 70% 台となっており、同年代の「男性」の割合よりも 10 ポイント以上低くなっている。



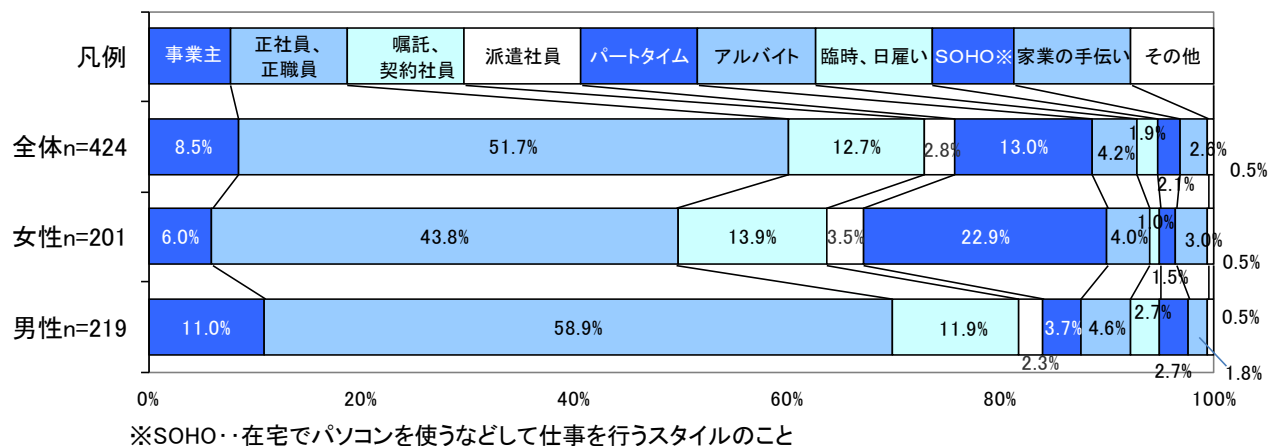
2 現在の職業の就業形態

問7で「1.職業に持っている」とお答えの方にお聞きします

問7-A あなたは、どのような形態で働いていますか。次の中から1つ選んで○をつけてください。

<全体の結果>

現在、職業を持っている人にその就業形態を聞いたところ、「正社員、正職員」の51.7%が最も高く、これに「パートタイム」の13.0%、「嘱託、契約社員」の12.7%が続いている。



<前回との比較>

平成23年調査と比較して5ポイント以上の増減があった就業形態は、「正社員、正職員」(平成28年:51.7%、6.7ポイント増)、「嘱託、契約社員」(同12.7%、6.4ポイント増)、「パートタイム」(同13.0%、9.1ポイント減)となっている。平成23年と比べ「事業主」と「家業」は減少している。

	平成23年 n=480 %	平成28年 n=424 %
事業主	11.9	8.5
正社員、正職員	45.0	51.7
嘱託、契約社員	6.3	12.7
派遣社員	1.3	2.8
パートタイム	22.1	13.0
アルバイト	2.7	4.2
臨時、日雇い	2.5	1.9
SOHO(在宅でパソコンを使うなどして仕事を行うスタイルのこと)	0.2	2.1
家業(お店や農林漁業など)の手伝い	5.8	2.6
その他	1.3	0.5
合計	100.0	100.0

<性別及び性・年代別にみた結果>

性別にみると、「男性」は「女性」と比べ「正社員、正職員」の割合が 15.1 ポイント高くなっている。

性・年代別にみると、「女性」の「正社員、正職員」の割合は「20 歳代」で 80% 台となっているが、『30～50 歳代』では 40～50% 台に減少している。これに対し「男性」で、『30～50 歳代』の「正社員、正職員」の割合は 70% 台以上となっている。「女性」の『40～70 歳代』は「パートタイム」の割合が高い。

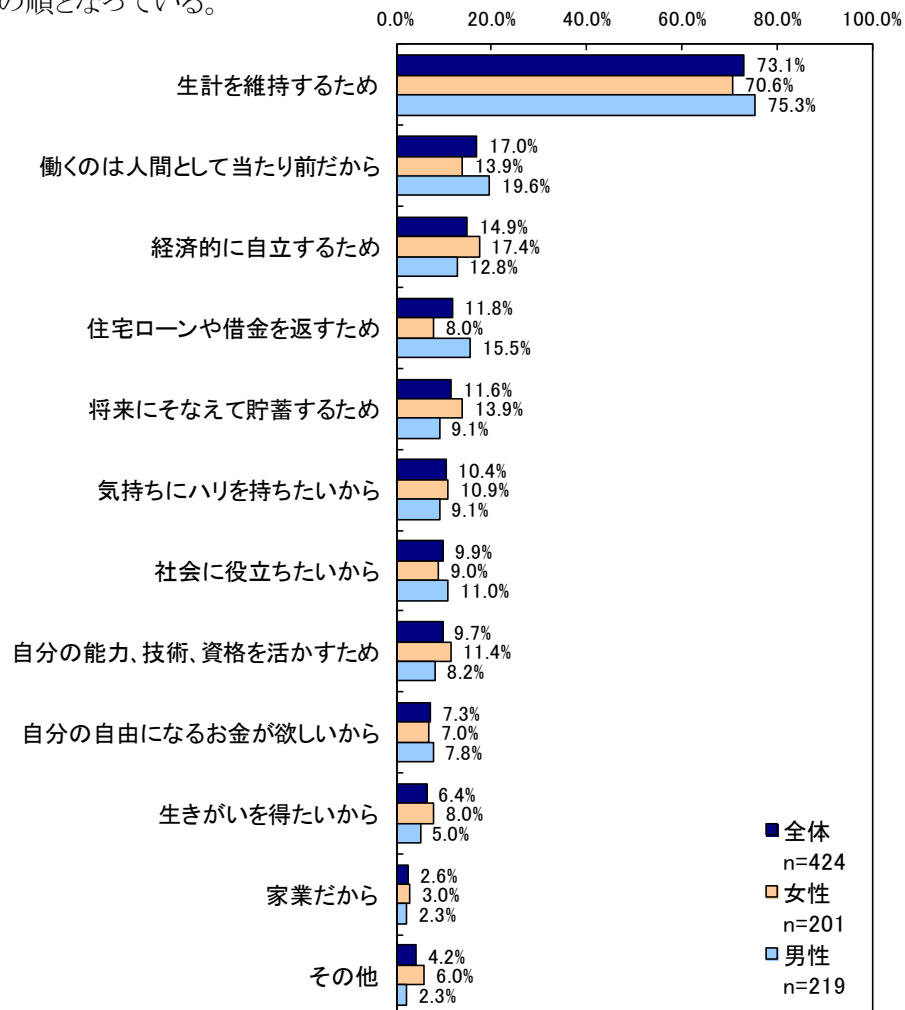
		合計	事業主	正社員、 正職員	嘱託、 契約社員	派遣社員	パートタイム	アルバイト	臨時、 日雇い	ＳＯＨＯ（在宅でパソコン を使うなどして仕事を行うこと）	ＳＯＨＯ（在宅でパソコン を使うなどして仕事を行うこと）	その他
全体		424	36	219	54	12	55	18	8	9	11	2
		100.0%	8.5%	51.7%	12.7%	2.8%	13.0%	4.2%	1.9%	2.1%	2.6%	0.5%
女性	小計	201	12	88	28	7	46	8	2	3	6	1
		100.0%	6.0%	43.8%	13.9%	3.5%	22.9%	4.0%	1.0%	1.5%	3.0%	0.5%
	20歳代	38	0	32	2	0	3	1	0	0	0	0
		100.0%	0.0%	84.2%	5.3%	0.0%	7.9%	2.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	30歳代	22	0	13	3	3	3	0	0	0	0	0
		100.0%	0.0%	59.1%	13.6%	13.6%	13.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	40歳代	46	2	21	9	2	10	2	0	0	0	0
		100.0%	4.3%	45.7%	19.6%	4.3%	21.7%	4.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	50歳代	30	3	13	3	1	7	1	2	0	0	0
		100.0%	10.0%	43.3%	10.0%	3.3%	23.3%	3.3%	6.7%	0.0%	0.0%	0.0%
	60歳代	45	3	7	10	1	18	3	0	1	2	0
		100.0%	6.7%	15.6%	22.2%	2.2%	40.0%	6.7%	0.0%	2.2%	4.4%	0.0%
男性	70歳代	12	3	0	1	0	5	1	0	0	2	0
		100.0%	25.0%	0.0%	8.3%	0.0%	41.7%	8.3%	0.0%	0.0%	16.7%	0.0%
	75歳以上	8	1	2	0	0	0	0	0	2	2	1
		100.0%	12.5%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	25.0%	25.0%	12.5%
	無回答	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	小計	219	24	129	26	5	8	10	6	6	4	1
		100.0%	11.0%	58.9%	11.9%	2.3%	3.7%	4.6%	2.7%	2.7%	1.8%	0.5%
	20歳代	10	0	9	0	1	0	0	0	0	0	0
		100.0%	0.0%	90.0%	0.0%	10.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	30歳代	40	3	30	2	0	0	2	1	2	0	0
		100.0%	7.5%	75.0%	5.0%	0.0%	0.0%	5.0%	2.5%	5.0%	0.0%	0.0%
女性	40歳代	59	2	51	3	1	0	0	1	0	1	0
		100.0%	3.4%	86.4%	5.1%	1.7%	0.0%	0.0%	1.7%	0.0%	1.7%	0.0%
	50歳代	36	7	26	1	0	0	0	0	1	1	0
		100.0%	19.4%	72.2%	2.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	2.8%	2.8%	0.0%
	60歳代	58	6	12	18	2	5	6	4	3	1	1
		100.0%	10.3%	20.7%	31.0%	3.4%	8.6%	10.3%	6.9%	5.2%	1.7%	1.7%
	70歳代	11	4	0	2	1	2	2	0	0	0	0
		100.0%	36.4%	0.0%	18.2%	9.1%	18.2%	18.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	75歳以上	4	2	0	0	0	1	0	0	0	1	0
		100.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	25.0%	0.0%
	無回答	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
		100.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

3 就労理由

問 7-B あなたが現在、職業を持っているのは、どういう理由からですか。次の中から2つまで選んで○をつけてください。

<全体の結果>

現在、職業を持っている人にその理由を聞いたところ、「生計を維持するため」が最も高く、全体の73.1%を占めている。以下、回答割合の高い方から、「働くのは人間として当たり前だから」(17.0%)、「経済的に自立するため」(14.9%)、「住宅ローンや借金を返すため」(11.8%)、「将来にそなえて貯蓄するため」(11.6%)の順となっている。



<前回との比較>

平成23年調査と比較して5ポイント以上の増減があった就労理由は、「経済的に自立するため」(平成28年:14.9%、6.7ポイント増)となっている。

	平成23年 n=480 %	平成28年 n=424 %
生計を維持するため	69.4	73.1
住宅ローンや借金を返すため	14.0	11.8
将来にそなえて貯蓄するため	14.8	11.6
経済的に自立するため	6.9	14.9
自分の自由になるお金が欲しいから	7.1	7.3
自分の能力、技術、資格を活かすため	11.7	9.7
社会に役立ちたいから	8.8	9.9
気持ちにハリを持ちたいから	13.5	10.4
働くのは人間として当たり前だから	17.9	17.0
生きがいを得たいから	-	6.4
家業だから	7.3	2.6
その他	1.5	4.2

<性別及び性・年代別にみた結果>

性別にみると、「男性」は「女性」と比べ「生計を維持するため」、「働くのは人間として当たり前」、「住宅ローンや借金を返すため」の割合が高くなっている。これに対し、「女性」は「男性」と比べ「経済的に自立するため」と「将来に備えて貯蓄するため」の割合が高くなっている。

性・年代別にみると、「女性」の『20～40 歳代』は「経済的に自立するため」の割合が高く、「男性」の『30～50 歳代』は「生計を維持するため」の割合が高くなっている。

		合計	生計を維持するため	住宅ローンや借金を返すため	将来にそなえて貯蓄するため	経済的に自立するため	自分の自由になるお金が欲しいから	自分の能力、技術、資格を活かすため	社会に役立ちたいから	気持ちにハリを持ちたいから	働くのは人間として当たり前だから	生きがいを得たいから	家業だから	その他
全体		424	310	50	49	63	31	41	42	44	72	27	11	18
			73.1%	11.8%	11.6%	14.9%	7.3%	9.7%	9.9%	10.4%	17.0%	6.4%	2.6%	4.2%
女性	小計	201	142	16	28	35	14	23	18	22	28	16	6	12
			70.6%	8.0%	13.9%	17.4%	7.0%	11.4%	9.0%	10.9%	13.9%	8.0%	3.0%	6.0%
	20歳代	38	25	1	9	16	4	6	3	0	5	3	0	2
			65.8%	2.6%	23.7%	42.1%	10.5%	15.8%	7.9%	0.0%	13.2%	7.9%	0.0%	5.3%
	30歳代	22	16	6	1	5	2	3	3	0	4	1	0	3
			72.7%	27.3%	4.5%	22.7%	9.1%	13.6%	13.6%	0.0%	18.2%	4.5%	0.0%	13.6%
	40歳代	46	39	3	4	10	1	7	3	3	7	1	0	1
			84.8%	6.5%	8.7%	21.7%	2.2%	15.2%	6.5%	6.5%	15.2%	2.2%	0.0%	2.2%
	50歳代	30	26	3	10	1	1	0	2	3	2	1	0	2
			86.7%	10.0%	33.3%	3.3%	3.3%	0.0%	6.7%	10.0%	6.7%	3.3%	0.0%	6.7%
	60歳代	45	32	3	4	3	5	4	3	12	7	2	2	3
男性			71.1%	6.7%	8.9%	6.7%	11.1%	8.9%	6.7%	26.7%	15.6%	4.4%	4.4%	6.7%
	70歳代	12	2	0	0	0	1	3	4	2	1	4	2	1
			16.7%	0.0%	0.0%	0.0%	8.3%	25.0%	33.3%	16.7%	8.3%	33.3%	16.7%	8.3%
	75歳以上	8	2	0	0	0	0	0	0	2	2	4	2	0
			25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	25.0%	25.0%	50.0%	25.0%	0.0%
	無回答	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
			0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	小計	219	165	34	20	28	17	18	24	20	43	11	5	5
			75.3%	15.5%	9.1%	12.8%	7.8%	8.2%	11.0%	9.1%	19.6%	5.0%	2.3%	2.3%
	20歳代	10	10	3	1	0	2	2	0	0	0	0	0	0
			100.0%	30.0%	10.0%	0.0%	20.0%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	30歳代	40	32	6	4	7	2	2	8	1	9	2	1	0
			80.0%	15.0%	10.0%	17.5%	5.0%	5.0%	20.0%	2.5%	22.5%	5.0%	2.5%	0.0%
	40歳代	59	47	9	3	12	2	4	6	1	14	3	1	2
			79.7%	15.3%	5.1%	20.3%	3.4%	6.8%	10.2%	1.7%	23.7%	5.1%	1.7%	3.4%
	50歳代	36	33	5	7	2	1	3	4	0	7	1	1	0
			91.7%	13.9%	19.4%	5.6%	2.8%	8.3%	11.1%	0.0%	19.4%	2.8%	2.8%	0.0%
	60歳代	58	34	11	5	6	7	7	6	14	9	4	1	0
			58.6%	19.0%	8.6%	10.3%	12.1%	12.1%	10.3%	24.1%	15.5%	6.9%	1.7%	0.0%
	70歳代	11	5	0	0	0	3	0	0	3	3	1	0	2
			45.5%	0.0%	0.0%	0.0%	27.3%	0.0%	0.0%	27.3%	27.3%	9.1%	0.0%	18.2%
	75歳以上	4	3	0	0	1	0	0	0	1	0	0	1	1
			75.0%	0.0%	0.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	25.0%	0.0%	0.0%	25.0%	25.0%
	無回答	1	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0
			100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%

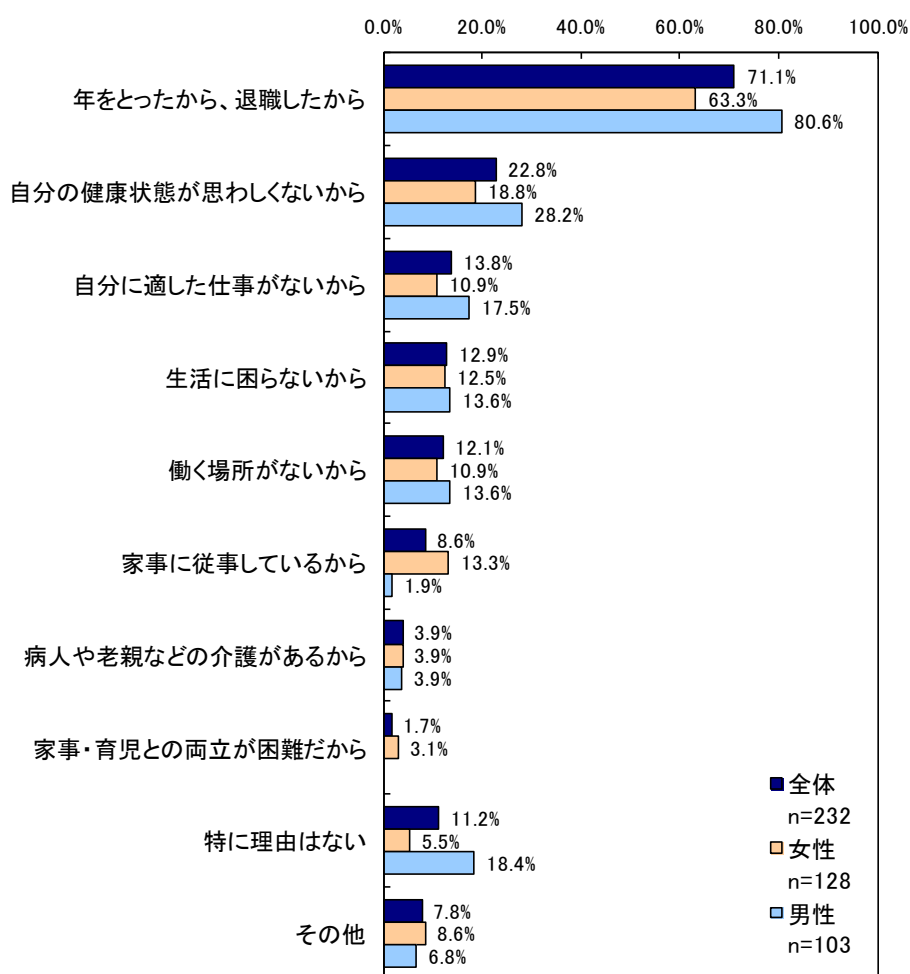
4 就労していない理由

問7で「2.職業を持っていない」、「3.職業を持ったことがない」とお答えの方にお聞きます

問7-C あなたが現在、職業についていないのは、どのような理由からですか。次の中から3つまで選んで○をつけてください。

<全体の結果>

現在、職業を持っていない人にその理由を聞いたところ、「年をとったから、退職したから」が最も高く、全体の71.1%を占めている。以下、回答割合の高い方から、「自分の健康状態が思わしくないから」(22.8%)、「自分に適した仕事がないから」(13.8%)、「生活に困らないから」(12.9%)、「働く場所がないから」(12.1%)の順となっている。



＜前回との比較＞

平成23年調査と比較して5ポイント以上の増減があった就労していない理由は、「年をとったから、退職したから」(同71.1%、11.1ポイント増)、「自分の健康状態が思わしくないから」(同22.8%、6.1ポイント増)、「家事・育児との両立が困難だから」(同1.7%、10.0ポイント減)、「家事に従事しているから(23年「家事も立派な仕事だから」)」(平成28年:8.6%、8.6ポイント減)、「生活に困らないから」(同12.9%、5.4ポイント減)となっている。

	平成23年 n=480 %	平成28年 n=232 %
家事に従事しているから	17.2	8.6
年をとったから、退職したから	60.0	71.1
生活に困らないから	18.3	12.9
自分の健康状態が思わしくないから	16.7	22.8
家事・育児との両立が困難だから	11.7	1.7
病人や老親などの介護があるから	8.3	3.9
自分に適した仕事がないから	13.3	13.8
働く場所がないから	15.0	12.1
特に理由はない	－	11.2
その他	8.3	7.8

※平成28年調査の「家事に従事しているから」の質問は、平成23年調査では「家事も立派な仕事だから」となっている。

＜性別にみた結果＞

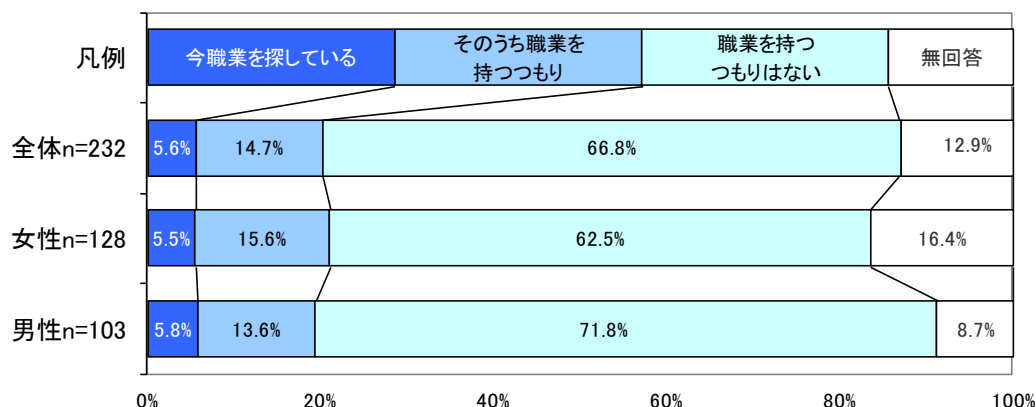
性別にみると、「男性」は「女性」と比べ「年をとったから、退職したから」、「自分の健康状態が思わしくないから」、「自分に適した仕事がないから」、「特に理由はない」の割合が高くなっている。これに対し、「女性」は「男性」と比べ「家事に従事しているから」の割合が高くなっている。

5 今後の就労意向

問 7-D あなたは今後、職業を持ちたいですか。次の中から1つ選んで○をつけてください。

<全体の結果>

今後の就労意向をみると、「職業を持つつもりはない」が最も高く、全体の66.8%を占めている。「今職業を探している」と「そのうち職業を持つつもり」を合わせた『就労意向』を持つ人は20.3%となっている。



<前回との比較>

平成23年調査と比較して5ポイント以上の増減があった今後の就労意向に関わる項目は、「そのうち職業を持つつもり」(同14.7%、5.3ポイント減)となっている。「今職業を探している」と「そのうち職業を持つつもり」を合わせた『就労意向』を持つ人も8.0ポイント減少している。

	平成23年 n=180 %	平成28年 n=232 %
今職業を探している	8.3	5.6
そのうち職業を持つつもり	20.0	14.7
職業を持つつもりはない	62.8	66.8
無回答	8.9	12.9
合計	100.0	100.0

<性別にみた結果>

性別に差は認められない。『今後の職業意向を持つ人(「今職業を探している」または「そのうち職業を持つつもり」)』の割合をみると、「男性」全体の19.4%に対し、「女性」は全体の21.1%となっている。

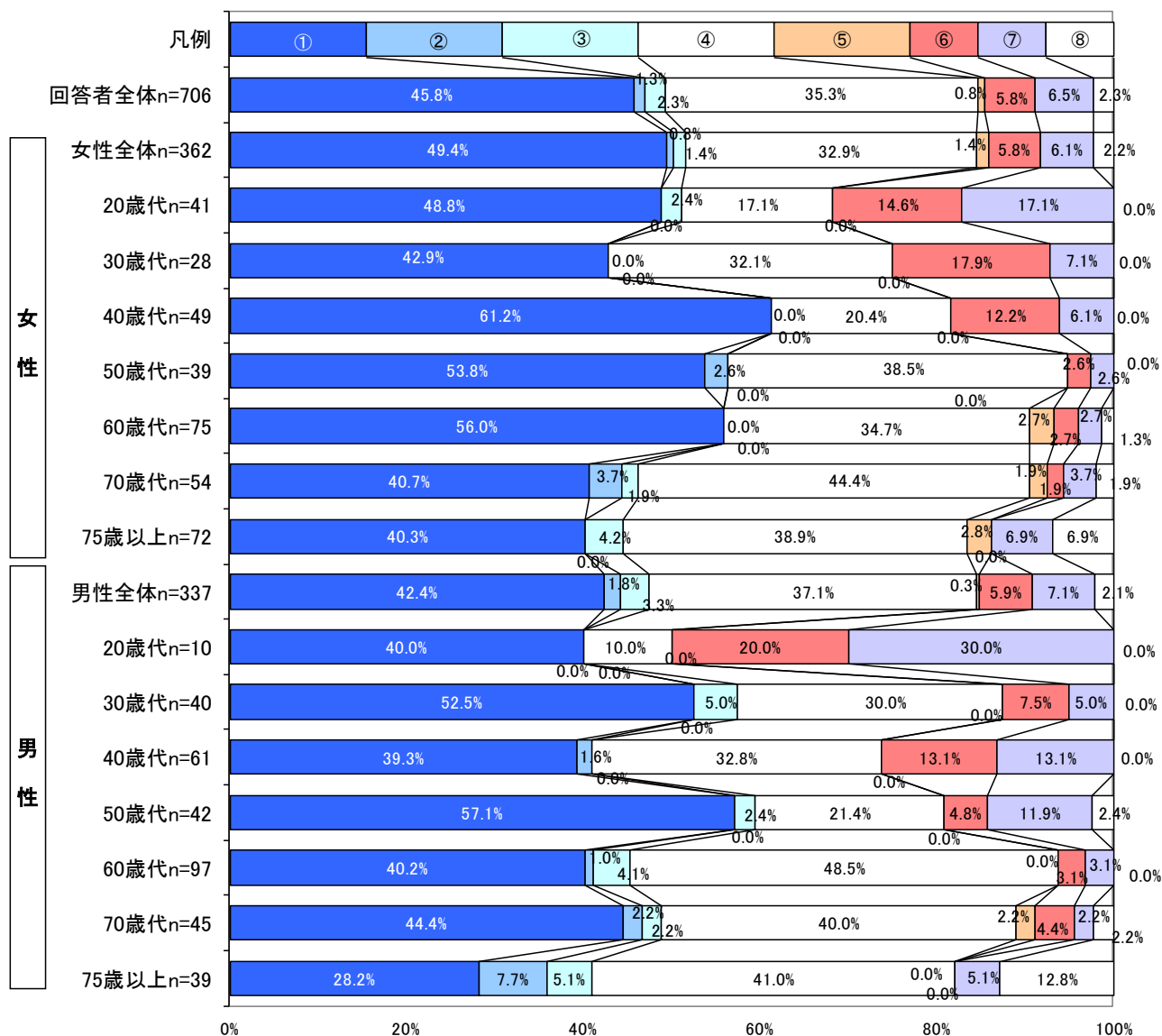
6 女性の就労についての考え方

問8 あなたは、女性が職業を持つことについて、どう思いますか。次の中から1つ選んで○をつけてください。

<全体の結果>

女性が職業を持つことについての考えをみると、「ずっと職業を持っているほうがよい」の45.8%が最も高く、これに「子どもができたら職業をやめ、子どもに手がからなくなって再び持つほうがよい」の35.3%が続いている。

- ① ずっと職業を持っているほうがよい
- ② 結婚するまでは職業を持ち、あとは持たないほうがよい
- ③ 子どもができるまで職業を持ち、あとは持たないほうがよい
- ④ 子どもができたら職業をやめ、子どもに手がからなくなって再び持つほうがよい
- ⑤ 女性は職業を持たないほうがよい
- ⑥ その他
- ⑦ わからない
- ⑧ 無回答



<前回との比較>

平成 23 年調査と比較して 5 ポイント以上の増減があった項目は、「ずっと職業を持っているほうがよい」(平成 28 年 45.8%、6.5 ポイント増)、「子どもができたら職業をやめ、子どもに手がかからなくなって再び持つほうがよい」(平成 28 年 35.3%、8.0 ポイント減)となっている。平成 23 年調査では「子どもができたら職業をやめ、子どもに手がかからなくなって再び持つほうがよい」が最も高くなっていたが、今回の調査結果では順位が逆転し「ずっと職業を持っているほうがよい」が最も高くなっている。

	平成23年 n=787 %	平成28年 n=706 %
ずっと職業を持っているほうがよい	39.3	45.8
結婚するまでは職業を持ち、あとは持たないほうがよい	1.7	1.3
子どもができるまで職業を持ち、あとは持たないほうがよい	2.7	2.3
子どもができたら職業をやめ、子どもに手がかからなくなって再び持つほうがよい	43.3	35.3
女性は職業を持たないほうがよい	0.8	0.8
その他	4.1	5.8
わからない	5.3	6.5
無回答	2.9	2.3
合計	100.0	100.0

<性別及び性・年代別にみた結果>

性別にみると、「女性」は「男性」と比べ「ずっと職業を持っているほうがよい」の割合がやや高くなっている。これに対し、「男性」は「女性」と比べ「子どもができたら職業をやめ、子どもに手がかからなくなって再び持つほうがよい」の割合がやや高くなっている。

性・年代別にみると、「女性」の『40～60 歳代』は「ずっと職業を持っているほうがよい」の割合が高いほか、『20～40 歳代』では「その他」の割合が 10% 台でやや高くなっている。一方、「男性」の『60 歳以上』は「子どもができたら職業をやめ、子どもに手がかからなくなって再び持つほうがよい」の割合が高くなっている。

<結婚の有無別にみた結果>

「女性」の「結婚していない」と「離婚」、「男性」の「既婚(共働きである)」では他の層と比べて「ずっと職業を持っているほうがよい」の割合が高い。これに対し、「男性」の「結婚していない」と「既婚(共働きでない)」では「子どもができたなら職業をやめ、子どもに手がかからなくなって再び持つほうがよい」の割合が高い。このほか、「女性」の「結婚していない」と「既婚(共働きである)」では、「その他」の割合が高くなっている。

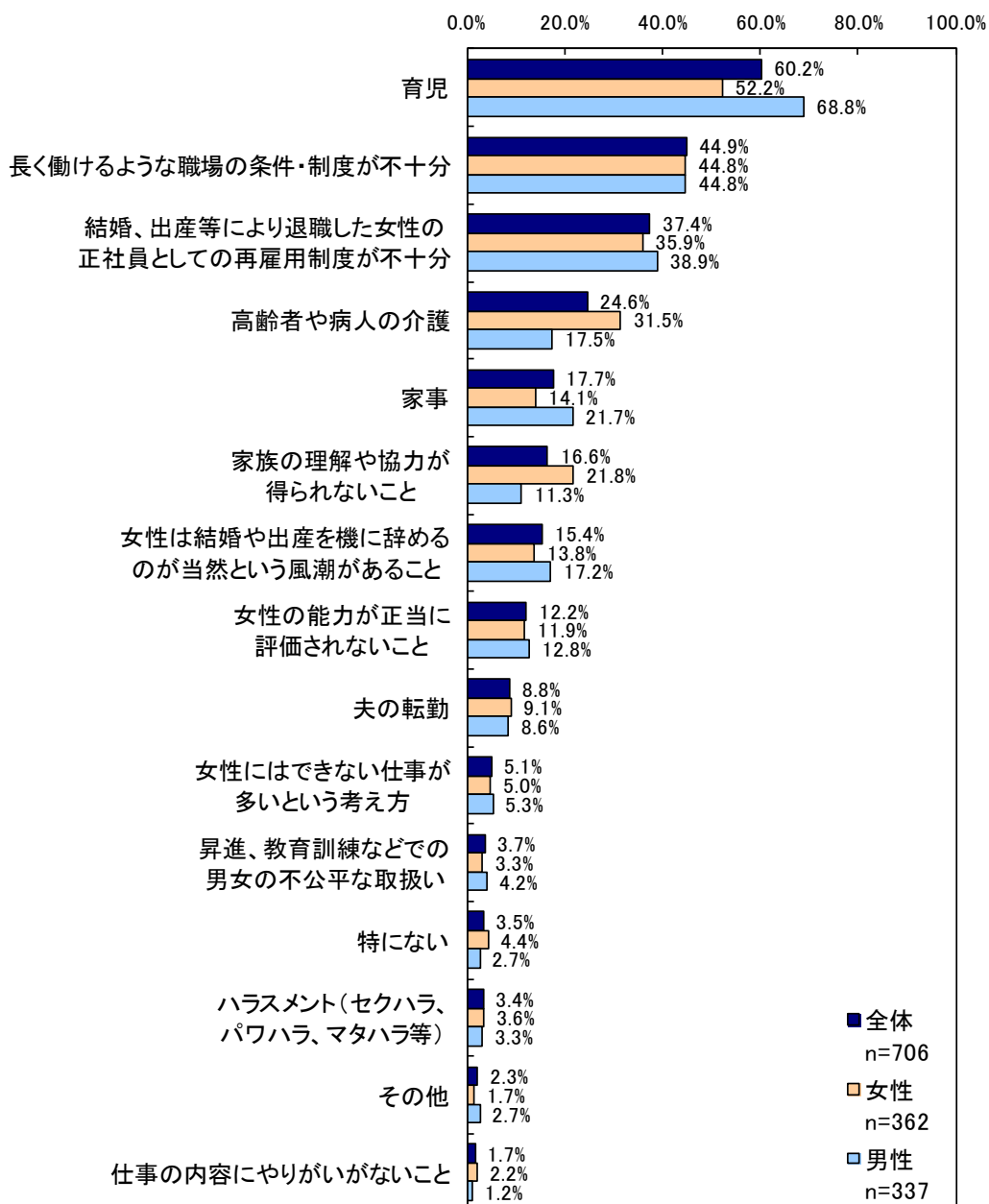
		合計	ずっと がよ 職業 を持 っ て い る	あ と 結 婚 す は 持 た な い は 職 業 を 持 ち 、	あ と 子 ど も が 持 た な い は 職 業 を 持 ち 、	再 子 ど も が 持 つ ほ う が よ い	子 ど も が 持 つ ほ う が よ い	女 性 は 職 業 を 持 た な い ほ う が よ い	そ の 他	わ か ら な い	無 回 答
全体		706	323	9	16	249	6	41	46	16	
		1.0	45.8%	1.3%	2.3%	35.3%	0.8%	5.8%	6.5%	2.3%	
女性	小計	362	179	3	5	119	5	21	22	8	
		1.0	49.4%	0.8%	1.4%	32.9%	1.4%	5.8%	6.1%	2.2%	
	結婚していない	95	52	1	1	22	0	10	9	0	
		1.0	54.7%	1.1%	1.1%	23.2%	0.0%	10.5%	9.5%	0.0%	
	既婚(共働きである)	20	8	0	1	6	0	4	1	0	
		1.0	40.0%	0.0%	5.0%	30.0%	0.0%	20.0%	5.0%	0.0%	
	既婚(共働きでない)	26	11	0	0	10	1	1	3	0	
		1.0	42.3%	0.0%	0.0%	38.5%	3.8%	3.8%	11.5%	0.0%	
	死別	142	65	1	3	51	4	2	8	8	
		1.0	45.8%	0.7%	2.1%	35.9%	2.8%	1.4%	5.6%	5.6%	
男性	離婚	76	43	0	0	28	0	4	1	0	
		1.0	56.6%	0.0%	0.0%	36.8%	0.0%	5.3%	1.3%	0.0%	
	その他	1	0	0	0	1	0	0	0	0	
		1.0	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
	無回答	2.0	0.0%	100.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
		1.0	0.0%	50.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
	小計	337	143	6	11	125	1	20	24	7	
		1.0	42.4%	1.8%	3.3%	37.1%	0.3%	5.9%	7.1%	2.1%	
	結婚していない	24	8	0	0	10	0	0	6	0	
		1.0	33.3%	0.0%	0.0%	41.7%	0.0%	0.0%	25.0%	0.0%	
男性	既婚(共働きである)	121	68	0	0	34	0	10	8	1	
		1.0	56.2%	0.0%	0.0%	28.1%	0.0%	8.3%	6.6%	0.8%	
	既婚(共働きでない)	166	59	2	10	74	1	8	8	4	
		1.0	35.5%	1.2%	6.0%	44.6%	0.6%	4.8%	4.8%	2.4%	
	死別	8	4	0	0	1	0	0	1	2	
		1.0	50.0%	0.0%	0.0%	12.5%	0.0%	0.0%	12.5%	25.0%	
	離婚	8	2	2	0	1	0	2	1	0	
		1.0	25.0%	25.0%	0.0%	12.5%	0.0%	25.0%	12.5%	0.0%	
	その他	6	1	2	0	3	0	0	0	0	
		1.0	16.7%	33.3%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
男性	無回答	4	1	0	1	2	0	0	0	0	
		1.0	25.0%	0.0%	25.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	

7 女性が職業を持ち続けることが困難な理由

問9 あなたは、女性が職業を持ち続けることを困難にしていることがあるとすれば、それは何だと思いますか。次の中から3つまで選んで○をつけてください。

<全体の結果>

女性が職業を持ち続けることの困難の理由をみると、「育児」の60.2%が最も高く、これに「長く働けるような職場の条件・制度が不十分」の44.9%、「結婚、出産等により退職した女性の正社員としての再雇用制度が不十分」の37.4%が続いている。



＜前回との比較＞

平成 23 年調査と比較して 5 ポイント以上の増減があった項目は、「育児」（平成 28 年 60.2%、7.7 ポイント減）、「家事」（平成 28 年 17.7%、6.3 ポイント減）となっている。「育児」、「家事」、「家族の理解や協力が得られないこと」、「長く働けるような職場の条件・制度が不十分」などの困難が減少傾向であることが示されたが、今回の調査で新設された「女性は結婚や出産を機に辞めるのが当然という風潮があること」は 15.4%と、ある程度高い割合となっている。

	平成23年 n=787 %	平成28年 n=706 %
育児	67.9	60.2
高齢者や病人の介護	27.3	24.6
夫の転勤	7.5	8.8
家事	24.0	17.7
家族の理解や協力が得られないこと	21.3	16.6
女性の能力が正当に評価されないこと	10.2	12.2
仕事の内容にやりがいがないこと	2.4	1.7
長く働けるような職場の条件・制度が不十分	48.7	44.9
結婚、出産等により退職した女性の正社員としての再雇用制度が不十分	41.9	37.4
昇進、教育訓練などでの男女の不公平な取扱い	4.3	3.7
ハラスメント(セクハラ、パワハラ、マタハラ等)	1.0	3.4
女性は結婚や出産を機に辞めるのが当然という風潮があること	—	15.4
女性にはできない仕事が多いという考え方	3.4	5.1
その他	1.7	2.3
特になし	1.3	3.5

※平成28年調査の選択肢「ハラスメント(セクハラ、パワハラ、マタハラ等)」は、平成23年調査では「セクシュアル・ハラスメント」となっている。

<性別及び性・年代別にみた結果>

性別にみると、「女性」は「男性」と比べ「高齢者や病人の介護」と「家族の理解や協力が得られないこと」の割合が高くなっている。これに対し、「男性」は「女性」と比べ「育児」と「家事」の割合が高くなっている。

性・年代別にみると、「女性」の『50 歳以上』は「高齢者や病人の介護」の割合が高いほか、『20～40 歳代』では「家事」の割合が高くなっている。一方、「男性」の『30～60 歳代』は「育児」の割合が高くなっている。「結婚、出産等により退職した女性の正社員としての再雇用制度が不十分」の割合は、「女性」の『20～30 歳代』、「男性」の『60 歳以上』で高くなっている。

		合計	育児	高齢者や病人の介護	夫の転勤	家事	家族の理解や協力が得られないこと	女性の能力が正当に評価されないこと	仕事の内容にやりがいがないこと	長く働けるような職場の条件が不十分	雇用制度が不十分	結婚、出産等により退職した女性の正社員としての再雇用制度が不十分	昇進、教育訓練などでの男女の不公平な取扱い	パワハラ、マタハラ等（セクハラ、ハラスメント等）	あることが結婚や出産を風潮に辞める女性が増える	女性にはできない仕事が多いという考え方	その他	特にない
全体		706	425	174	62	125	117	86	12	317	264	26	24	109	36	16	25	
			60.2%	24.6%	8.8%	17.7%	16.6%	12.2%	1.7%	44.9%	37.4%	3.7%	3.4%	15.4%	5.1%	2.3%	3.5%	
女性	小計	362	189	114	33	51	79	43	8	162	130	12	13	50	18	6	16	
			52.2%	31.5%	9.1%	14.1%	21.8%	11.9%	2.2%	44.8%	35.9%	3.3%	3.6%	13.8%	5.0%	1.7%	4.4%	
	20歳代	41	26	8	7	10	9	2	1	17	18	1	2	8	1	0	2	
			63.4%	19.5%	17.1%	24.4%	22.0%	4.9%	2.4%	41.5%	43.9%	2.4%	4.9%	19.5%	2.4%	0.0%	4.9%	
	30歳代	28	16	2	2	7	5	3	0	15	14	1	2	5	2	2	1	
			57.1%	7.1%	7.1%	25.0%	17.9%	10.7%	0.0%	53.6%	50.0%	3.6%	7.1%	17.9%	7.1%	7.1%	3.6%	
	40歳代	49	31	14	2	12	17	4	3	22	17	1	1	6	2	2	0	
			63.3%	28.6%	4.1%	24.5%	34.7%	8.2%	6.1%	44.9%	34.7%	2.0%	2.0%	12.2%	4.1%	4.1%	0.0%	
	50歳代	39	27	16	4	4	8	5	0	17	14	2	1	4	1	0	1	
			69.2%	41.0%	10.3%	10.3%	20.5%	12.8%	0.0%	43.6%	35.9%	5.1%	2.6%	10.3%	2.6%	0.0%	2.6%	
	60歳代	75	37	26	4	3	16	11	2	35	30	3	6	14	5	0	2	
			49.3%	34.7%	5.3%	4.0%	21.3%	14.7%	2.7%	46.7%	40.0%	4.0%	8.0%	18.7%	6.7%	0.0%	2.7%	
	70歳代	54	26	23	3	8	10	12	1	27	19	2	0	4	1	1	2	
			48.1%	42.6%	5.6%	14.8%	18.5%	22.2%	1.9%	50.0%	35.2%	3.7%	0.0%	7.4%	1.9%	1.9%	3.7%	
75歳以上	72	26	23	10	7	14	6	1	27	17	2	1	9	5	1	8		
		36.1%	31.9%	13.9%	9.7%	19.4%	8.3%	1.4%	37.5%	23.6%	2.8%	1.4%	12.5%	6.9%	1.4%	11.1%		
無回答	4	0	2	1	0	0	0	0	2	1	0	0	0	1	0	0		
		0.0%	50.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	25.0%	0.0%	0.0%		
男性	小計	337	232	59	29	73	38	43	4	151	131	14	11	58	18	9	9	
			68.8%	17.5%	8.6%	21.7%	11.3%	12.8%	1.2%	44.8%	38.9%	4.2%	3.3%	17.2%	5.3%	2.7%	2.7%	
	20歳代	10	8	0	2	2	1	4	0	3	3	1	2	1	1	0	0	
			80.0%	0.0%	20.0%	20.0%	10.0%	40.0%	0.0%	30.0%	30.0%	10.0%	20.0%	10.0%	10.0%	0.0%	0.0%	
	30歳代	40	29	4	5	10	6	7	0	16	14	2	4	12	2	1	0	
			72.5%	10.0%	12.5%	25.0%	15.0%	17.5%	0.0%	40.0%	35.0%	5.0%	10.0%	30.0%	5.0%	2.5%	0.0%	
	40歳代	61	49	6	7	20	7	6	0	23	17	1	0	11	4	4	2	
			80.3%	9.8%	11.5%	32.8%	11.5%	9.8%	0.0%	37.7%	27.9%	1.6%	0.0%	18.0%	6.6%	6.6%	3.3%	
	50歳代	42	29	10	2	8	5	6	1	20	16	1	2	5	1	2	1	
			69.0%	23.8%	4.8%	19.0%	11.9%	14.3%	2.4%	47.6%	38.1%	2.4%	4.8%	11.9%	2.4%	4.8%	2.4%	
	60歳代	97	70	22	6	21	9	11	1	53	42	4	2	15	7	1	0	
			72.2%	22.7%	6.2%	21.6%	9.3%	11.3%	1.0%	54.6%	43.3%	4.1%	2.1%	15.5%	7.2%	1.0%	0.0%	
	70歳代	45	25	9	6	8	5	7	2	16	22	1	0	10	0	1	2	
			55.6%	20.0%	13.3%	17.8%	11.1%	15.6%	4.4%	35.6%	48.9%	2.2%	0.0%	22.2%	0.0%	2.2%	4.4%	
75歳以上	39	19	6	1	4	5	2	0	18	17	4	1	4	3	0	4		
		48.7%	15.4%	2.6%	10.3%	12.8%	5.1%	0.0%	46.2%	43.6%	10.3%	2.6%	10.3%	7.7%	0.0%	10.3%		
無回答	3	3	2	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0		
		100.0%	66.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	66.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		

<結婚の有無別にみた結果>

男女にかかわらず「既婚(共働きである)」では「長く働けるような職場の条件・制度が不十分」の割合が50%台となっている。同じく「既婚(共働きでない)」では「育児」の割合が高い。

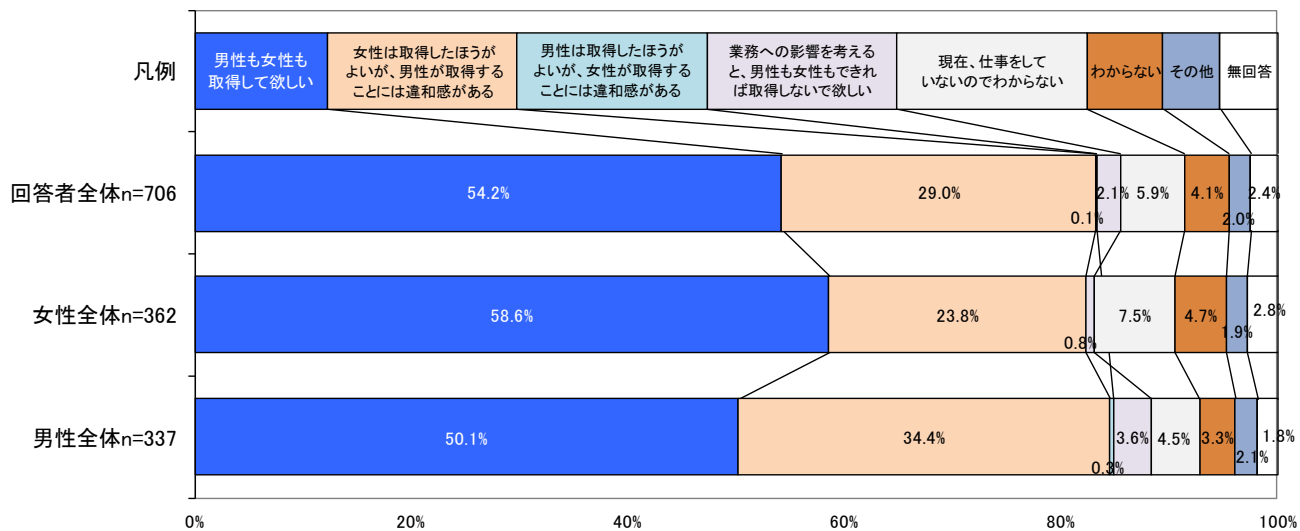
		合計	育児	高齢者や病人の介護	夫の転勤	家事	家族の理解や協力が得られないこと	女性の能力が正当に評価されないこと	仕事の内容にやりがいがないこと	長く働けるような職場の条件・制度が不十分	結婚、出産等により退職した女性の正社員としての再雇用制度が不十分	昇進、教育訓練などでの男女の不公平な取扱い	ハラスメント(セクハラ、パワハラ、マタハラ等)	女性という風潮があること	女性にはできない仕事が多いという考え方	その他	特にな
全体		706	425	174	62	125	117	86	12	317	264	26	24	109	36	16	25
女性	小計	362	189	114	33	51	79	43	8	162	130	12	13	50	18	6	16
			52.2%	31.5%	9.1%	14.1%	21.8%	11.9%	2.2%	44.8%	35.9%	3.3%	3.6%	13.8%	5.0%	1.7%	4.4%
	結婚していない	95	56	32	8	18	22	12	3	43	38	3	5	14	4	1	3
			58.9%	33.7%	8.4%	18.9%	23.2%	12.6%	3.2%	45.3%	40.0%	3.2%	5.3%	14.7%	4.2%	1.1%	3.2%
	既婚(共働きである)	20	8	3	1	2	3	1	0	11	10	0	1	3	1	1	3
			40.0%	15.0%	5.0%	10.0%	15.0%	5.0%	0.0%	55.0%	50.0%	0.0%	5.0%	15.0%	5.0%	5.0%	15.0%
	既婚(共働きでない)	26	18	7	2	4	4	2	0	12	11	1	0	2	0	1	1
			69.2%	26.9%	7.7%	15.4%	15.4%	7.7%	0.0%	46.2%	42.3%	3.8%	0.0%	7.7%	0.0%	3.8%	3.8%
	死別	142	63	47	16	16	29	17	2	59	50	2	4	18	7	2	8
			44.4%	33.1%	11.3%	11.3%	20.4%	12.0%	1.4%	41.5%	35.2%	1.4%	2.8%	12.7%	4.9%	1.4%	5.6%
男性	離婚	76	43	24	6	11	21	9	3	34	20	5	3	13	6	1	1
			56.6%	31.6%	7.9%	14.5%	27.6%	11.8%	3.9%	44.7%	26.3%	6.6%	3.9%	17.1%	7.9%	1.3%	1.3%
	その他	1	1	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0
			100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	無回答	2	0	1	0	0	0	1	0	2	1	1	0	0	0	0	0
			0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	100.0%	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	小計	337	232	59	29	73	38	43	4	151	131	14	11	58	18	9	9
			68.8%	17.5%	8.6%	21.7%	11.3%	12.8%	1.2%	44.8%	38.9%	4.2%	3.3%	17.2%	5.3%	2.7%	2.7%
	結婚していない	24	15	9	4	3	3	7	0	5	12	1	1	5	1	2	0
			62.5%	37.5%	16.7%	12.5%	12.5%	29.2%	0.0%	20.8%	50.0%	4.2%	4.2%	20.8%	4.2%	8.3%	0.0%
男性	既婚(共働きである)	121	90	15	9	33	15	10	2	62	38	6	8	24	6	4	2
			74.4%	12.4%	7.4%	27.3%	12.4%	8.3%	1.7%	51.2%	31.4%	5.0%	6.6%	19.8%	5.0%	3.3%	1.7%
	既婚(共働きでない)	166	116	26	15	33	18	23	1	80	73	6	1	25	8	3	5
			69.9%	15.7%	9.0%	19.9%	10.8%	13.9%	0.6%	48.2%	44.0%	3.6%	0.6%	15.1%	4.8%	1.8%	3.0%
	死別	8	4	2	0	0	1	2	1	0	2	0	0	2	1	0	0
			50.0%	25.0%	0.0%	0.0%	12.5%	25.0%	12.5%	0.0%	25.0%	0.0%	0.0%	25.0%	12.5%	0.0%	0.0%
	離婚	8	4	4	1	1	0	1	0	1	2	1	0	0	2	0	0
			50.0%	50.0%	12.5%	12.5%	0.0%	12.5%	0.0%	12.5%	25.0%	12.5%	0.0%	0.0%	25.0%	0.0%	0.0%
	その他	6	1	2	0	1	1	0	0	2	2	0	0	1	0	0	2
			16.7%	33.3%	0.0%	16.7%	16.7%	0.0%	0.0%	33.3%	33.3%	0.0%	0.0%	16.7%	0.0%	0.0%	33.3%
	無回答	4	2	1	0	2	0	0	0	1	2	0	1	1	0	0	0
			50.0%	25.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	25.0%	50.0%	0.0%	25.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%

8 育児休業取得についての考え方

問 10 あなたは、職場の男性または女性が育児休業を取得するとしたら、あなたはどのように思いますか。
次の中から1つ選んで○をつけてください。

<全体の結果>

育児休業を取得することについての考え方をみると、「男性も女性も取得して欲しい」の54.2%が最も高く、これに「女性は取得したほうがよいが、男性が取得することには違和感がある」の29.0%が続いている。



<性別及び性・年代別にみた結果>

性別にみると、「女性」は「男性」と比べ「男性も女性も取得して欲しい」の割合が高くなっている。これに対し、「男性」は「女性」と比べ「女性は取得したほうがよいが、男性が取得することには違和感がある」の割合が高くなっている。

性・年代別にみると、「女性」では『20～30歳代』と『50歳代』は「男性も女性も取得して欲しい」の割合が高いほか、「40歳代」で「女性は取得したほうがよいが、男性が取得することには違和感がある」の割合が高くなっている。一方、「男性」の『30～60歳代』は「女性は取得したほうがよいが、男性が取得することには違和感がある」の割合が高くなっている。

		合 計	い 男 性 も 女 性 も 取 得 し て 欲 し	は 違 う 感 が あ る こ と に よ い	が 女 性 は 取 得 し た ほ う が と よ い	が 男 性 は 取 得 し た ほ う が と よ い	男 性 も 女 性 も 取 得 し た ほ う が と よ い	業 務 へ の 影 響 を 考 え ら れ ば 取 得 し た ほ う が と よ い	で 現 在 、 仕 事 を し て い な い	わ か ら な い	そ の 他	無 回 答
全体		706 100.0%	383 54.2%	205 29.0%	1 0.1%	15 2.1%	42 5.9%	29 4.1%	14 2.0%	17 2.4%		
女性	小計	362 100.0%	212 58.6%	86 23.8%	0 0.0%	3 0.8%	27 7.5%	17 4.7%	7 1.9%	10 2.8%		
	20歳代	41 100.0%	33 80.5%	4 9.8%	0 0.0%	1 2.4%	0 0.0%	2 4.9%	1 2.4%	0 0.0%		
	30歳代	28 100.0%	20 71.4%	6 21.4%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 3.6%	1 3.6%	0 0.0%		
	40歳代	49 100.0%	23 46.9%	17 34.7%	0 0.0%	1 2.0%	1 2.0%	3 6.1%	4 8.2%	0 0.0%		
	50歳代	39 100.0%	30 76.9%	7 17.9%	0 0.0%	0 0.0%	2 5.1%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%		
	60歳代	75 100.0%	44 58.7%	20 26.7%	0 0.0%	1 1.3%	4 5.3%	4 5.3%	0 0.0%	2 2.7%		
	70歳代	54 100.0%	31 57.4%	14 25.9%	0 0.0%	0 0.0%	8 14.8%	0 0.0%	0 0.0%	1 1.9%		
	75歳以上	72 100.0%	29 40.3%	18 25.0%	0 0.0%	0 0.0%	11 15.3%	7 9.7%	1 1.4%	6 8.3%		
	無回答	4 100.0%	2 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 25.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 25.0%		
	男性	小計	337 100.0%	169 50.1%	116 34.4%	1 0.3%	12 3.6%	15 4.5%	11 3.3%	7 2.1%	6 1.8%	
		20歳代	10 100.0%	8 80.0%	1 10.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 10.0%	
		30歳代	40 100.0%	21 52.5%	17 42.5%	0 0.0%	1 2.5%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 2.5%	
		40歳代	61 100.0%	33 54.1%	21 34.4%	1 1.6%	2 3.3%	1 1.6%	1 1.6%	2 3.3%	0 0.0%	
		50歳代	42 100.0%	21 50.0%	14 33.3%	0 0.0%	3 7.1%	0 0.0%	3 7.1%	1 2.4%	0 0.0%	
60歳代		97 100.0%	47 48.5%	37 38.1%	0 0.0%	2 2.1%	5 5.2%	2 2.1%	3 3.1%	1 1.0%		
70歳代		45 100.0%	22 48.9%	11 24.4%	0 0.0%	3 6.7%	4 8.9%	3 6.7%	1 2.2%	1 2.2%		
75歳以上		39 100.0%	16 41.0%	13 33.3%	0 0.0%	1 2.6%	5 12.8%	2 5.1%	0 0.0%	2 5.1%		
無回答		3 100.0%	1 33.3%	2 66.7%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%		

<結婚の有無別にみた結果>

「女性」の「結婚していない」、「既婚(共働きである)」、「離婚」と「男性」の「結婚していない」では「男性も女性も取得して欲しい」の割合が高くなっている。「男性」では共働きの有無に関わらず「既婚」では「女性は取得したほうがよいが、男性が取得することには違和感がある」の割合が30%を超え、比較的高くなっている。

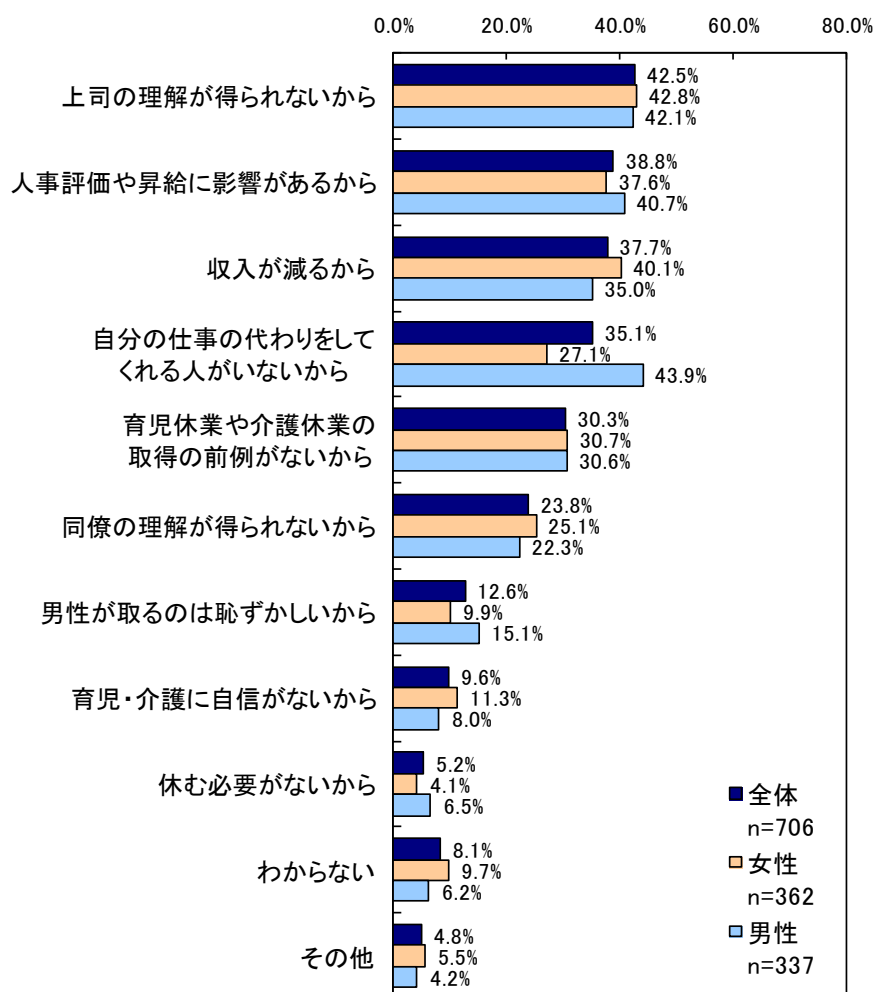
		合計	い男性も女性も取得して欲しい	はが女性と男性の両方取得するほうがよい	はが女性と男性の両方取得するほうがよい	はが女性と男性の両方取得するほうがよい	し男性も女性も取得して欲しい	業務への影響を考えると、	で現在、仕事をしていないの	わからない	その他	無回答
全体		706	383	205	1	15	42	29	14	17		
		100.0%	54.2%	29.0%	0.1%	2.1%	5.9%	4.1%	2.0%	2.4%		
女性	小計	362	212	86	0	3	27	17	7	10		
		100.0%	58.6%	23.8%	0.0%	0.8%	7.5%	4.7%	1.9%	2.8%		
	結婚していない	95	63	23	0	2	3	2	2	0		
		100.0%	66.3%	24.2%	0.0%	2.1%	3.2%	2.1%	2.1%	0.0%		
	既婚(共働きである)	20	13	5	0	0	1	0	1	0		
		100.0%	65.0%	25.0%	0.0%	0.0%	5.0%	0.0%	5.0%	0.0%		
	既婚(共働きでない)	26	13	5	0	0	3	3	2	0		
		100.0%	50.0%	19.2%	0.0%	0.0%	11.5%	11.5%	7.7%	0.0%		
	死別	142	73	33	0	1	17	7	1	10		
		100.0%	51.4%	23.2%	0.0%	0.7%	12.0%	4.9%	0.7%	7.0%		
男性	離婚	76	49	20	0	0	2	4	1	0		
		100.0%	64.5%	26.3%	0.0%	0.0%	2.6%	5.3%	1.3%	0.0%		
	その他	1	1	0	0	0	0	0	0	0		
		100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
	無回答	2.0	0.0%	0.0%	0	0.0%	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%		
		100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%		
	小計	337	169	116	1	12	15	11	7	6		
		100.0%	50.1%	34.4%	0.3%	3.6%	4.5%	3.3%	2.1%	1.8%		
	結婚していない	24	16	3	1	0	1	3	0	0		
		100.0%	66.7%	12.5%	4.2%	0.0%	4.2%	12.5%	0.0%	0.0%		
	既婚(共働きである)	121	65	45	0	4	0	1	4	2		
		100.0%	53.7%	37.2%	0.0%	3.3%	0.0%	0.8%	3.3%	1.7%		
	既婚(共働きでない)	166	78	56	0	8	13	5	3	3		
		100.0%	47.0%	33.7%	0.0%	4.8%	7.8%	3.0%	1.8%	1.8%		
	死別	8	3	4	0	0	0	0	0	1		
		100.0%	37.5%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	12.5%		
	離婚	8	2	4	0	0	1	1	0	0		
		100.0%	25.0%	50.0%	0.0%	0.0%	12.5%	12.5%	0.0%	0.0%		
	その他	6	2	3	0	0	0	1	0	0		
		100.0%	33.3%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	16.7%	0.0%	0.0%		
	無回答	4	3	1	0	0	0	0	0	0		
		100.0%	75.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		

9 男性の育児休業や介護休業が進まない理由

問 11 男性の育児休業や介護休業が進まない現状にあります、それはどのような理由からだと思
いますか。次の中から3つまで選んで○をつけてください。

<全体の結果>

男性の育児休業や介護休業が進まない理由をみると、「上司の理解が得られないから」の42.5%が最も高く、これに「人事評価や昇給に影響があるから」の38.8%、「収入が減るから」の37.7%が続いている。これら以外の選択肢で30%を超えているのは、「自分の仕事の代わりをしてくれる人がいないから」(35.1%)、「育児休業や介護休業の取得の前例がないから」(30.3%)となっており、男性が育児休業や介護休業を取得するには、依然、さまざまな障壁があることがうかがえる結果となっている。



<性別及び性・年代別にみた結果>

性別にみると、「女性」は「男性」と比べ「収入が減るから」の割合が高くなっている。これに対し、「男性」は「女性」と比べ「自分の仕事の代わりをしてくれる人がいないから」の割合が高くなっている。

性・年代別にみると、「女性」の『20～50 歳代』では「収入が減るから」の割合が高い。一方、「男性」では『40～70 歳代』で「自分の仕事の代わりをしてくれる人がいないから」の割合が高くなっているほか、「30 歳代」で「上司の理解が得られないから」と「同僚の理解が得られないから」の割合が高くなっている。

		合計	自分の仕事の代わりをして くれる人がいないから	同僚の理解が得られないか	上司の理解が得られないか	収入が減るから	人事評価や昇給に影響があるから	休む必要がないから	育児・介護に自信がないか	育児休業や介護休業の取得 の前例がないから	男性が取るのは恥ずかしい	わからない	その他
全体		706	248	168	300	266	274	37	68	214	89	57	34
			35.1%	23.8%	42.5%	37.7%	38.8%	5.2%	9.6%	30.3%	12.6%	8.1%	4.8%
女性	小計	362	98	91	155	145	136	15	41	111	36	35	20
			27.1%	25.1%	42.8%	40.1%	37.6%	4.1%	11.3%	30.7%	9.9%	9.7%	5.5%
	20歳代	41	8	10	19	19	20	2	4	12	5	3	6
			19.5%	24.4%	46.3%	46.3%	48.8%	4.9%	9.8%	29.3%	12.2%	7.3%	14.6%
	30歳代	28	6	8	17	16	11	1	4	8	2	1	3
			21.4%	28.6%	60.7%	57.1%	39.3%	3.6%	14.3%	28.6%	7.1%	3.6%	10.7%
	40歳代	49	17	13	21	22	14	5	5	17	8	2	3
			34.7%	26.5%	42.9%	44.9%	28.6%	10.2%	10.2%	34.7%	16.3%	4.1%	6.1%
	50歳代	39	15	5	16	18	18	1	3	15	3	1	2
			38.5%	12.8%	41.0%	46.2%	46.2%	2.6%	7.7%	38.5%	7.7%	2.6%	5.1%
	60歳代	75	17	22	38	30	29	1	10	33	6	7	1
			22.7%	29.3%	50.7%	40.0%	38.7%	1.3%	13.3%	44.0%	8.0%	9.3%	1.3%
	70歳代	54	17	17	22	18	22	1	5	13	6	5	2
			31.5%	31.5%	40.7%	33.3%	40.7%	1.9%	9.3%	24.1%	11.1%	9.3%	3.7%
75歳以上	72	17	16	20	21	21	4	10	11	5	16	3	
		23.6%	22.2%	27.8%	29.2%	29.2%	5.6%	13.9%	15.3%	6.9%	22.2%	4.2%	
無回答	4	1	0	2	1	1	0	0	2	1	0	0	
		25.0%	0.0%	50.0%	25.0%	25.0%	0.0%	0.0%	50.0%	25.0%	0.0%	0.0%	
男性	小計	337	148	75	142	118	137	22	27	103	51	21	14
			43.9%	22.3%	42.1%	35.0%	40.7%	6.5%	8.0%	30.6%	15.1%	6.2%	4.2%
	20歳代	10	3	6	6	4	0	2	0	4	1	0	1
			30.0%	60.0%	60.0%	40.0%	0.0%	20.0%	0.0%	40.0%	10.0%	0.0%	10.0%
	30歳代	40	14	14	25	16	17	1	0	15	6	0	3
			35.0%	35.0%	62.5%	40.0%	42.5%	2.5%	0.0%	37.5%	15.0%	0.0%	7.5%
	40歳代	61	31	16	22	29	20	3	4	16	10	1	6
			50.8%	26.2%	36.1%	47.5%	32.8%	4.9%	6.6%	26.2%	16.4%	1.6%	9.8%
	50歳代	42	19	5	19	15	24	2	5	18	6	0	0
			45.2%	11.9%	45.2%	35.7%	57.1%	4.8%	11.9%	42.9%	14.3%	0.0%	0.0%
	60歳代	97	44	21	41	26	39	8	10	32	19	4	2
			45.4%	21.6%	42.3%	26.8%	40.2%	8.2%	10.3%	33.0%	19.6%	4.1%	2.1%
	70歳代	45	23	6	17	15	18	2	6	12	5	6	1
			51.1%	13.3%	37.8%	33.3%	40.0%	4.4%	13.3%	26.7%	11.1%	13.3%	2.2%
75歳以上	39	12	7	11	12	19	4	2	6	3	9	1	
		30.8%	17.9%	28.2%	30.8%	48.7%	10.3%	5.1%	15.4%	7.7%	23.1%	2.6%	
無回答	3	2	0	1	1	0	0	0	0	1	1	0	
		66.7%	0.0%	33.3%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%	33.3%	0.0%	

<結婚の有無別にみた結果>

「男性」では結婚の有無に関わらず、「自分の仕事の代わりをしてくれる人がいないから」の割合が高くなっている。「女性」では結婚経験のある「既婚（共働きである）」と「同（共働きでない）」、「離婚」で「上司の理解が得られないから」の割合が高くなっている。

		合計	自分の仕事から代わりをして くれないから	同僚の理解が得られないから	上司の理解が得られないから	収入が減るから	人事評価や昇給に影響があるから	休む必要がないから	育児・介護に自信がないから	育児休業や介護休業の取得の前例がないから	男性が取るのは恥ずかしいから	わからない	その他
全体		706	248	168	300	266	274	37	68	214	89	57	34
			35.1%	23.8%	42.5%	37.7%	38.8%	5.2%	9.6%	30.3%	12.6%	8.1%	4.8%
女性	小計	362	98	91	155	145	136	15	41	111	36	35	20
			27.1%	25.1%	42.8%	40.1%	37.6%	4.1%	11.3%	30.7%	9.9%	9.7%	5.5%
	結婚していない	95	26	25	35	45	43	4	9	29	8	7	7
			27.4%	26.3%	36.8%	47.4%	45.3%	4.2%	9.5%	30.5%	8.4%	7.4%	7.4%
	既婚（共働きである）	20	5	3	12	10	6	1	1	7	1	2	3
			25.0%	15.0%	60.0%	50.0%	30.0%	5.0%	5.0%	35.0%	5.0%	10.0%	15.0%
	既婚（共働きでない）	26	7	7	13	8	7	0	4	7	5	2	2
			26.9%	26.9%	50.0%	30.8%	26.9%	0.0%	15.4%	26.9%	19.2%	7.7%	7.7%
	死別	142	34	37	57	46	52	5	16	39	10	19	6
			23.9%	26.1%	40.1%	32.4%	36.6%	3.5%	11.3%	27.5%	7.0%	13.4%	4.2%
男性	離婚	76	24	19	37	36	27	5	10	28	12	4	2
			31.6%	25.0%	48.7%	47.4%	35.5%	6.6%	13.2%	36.8%	15.8%	5.3%	2.6%
	その他	1	1	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0
			100.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	無回答	2.0	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	100.0%	0.0%
			50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	50.0%	0.0%
	小計	337	148	75	142	118	137	22	27	103	51	21	14
			43.9%	22.3%	42.1%	35.0%	40.7%	6.5%	8.0%	30.6%	15.1%	6.2%	4.2%
	結婚していない	24	12	7	11	9	9	3	3	5	2	1	2
			50.0%	29.2%	45.8%	37.5%	37.5%	12.5%	12.5%	20.8%	8.3%	4.2%	8.3%
男性	既婚（共働きである）	121	51	36	57	47	49	4	4	42	21	1	5
			42.1%	29.8%	47.1%	38.8%	40.5%	3.3%	3.3%	34.7%	17.4%	0.8%	4.1%
	既婚（共働きでない）	166	77	28	67	56	69	11	17	50	23	15	6
			46.4%	16.9%	40.4%	33.7%	41.6%	6.6%	10.2%	30.1%	13.9%	9.0%	3.6%
	死別	8	4	2	1	0	4	2	0	0	4	1	0
			50.0%	25.0%	12.5%	0.0%	50.0%	25.0%	0.0%	0.0%	50.0%	12.5%	0.0%
	離婚	8	3	2	2	3	3	0	1	2	1	2	0
			37.5%	25.0%	25.0%	37.5%	37.5%	0.0%	12.5%	25.0%	12.5%	25.0%	0.0%
	その他	6	0	0	4	2	3	2	1	3	0	1	0
			0.0%	0.0%	66.7%	33.3%	50.0%	33.3%	16.7%	50.0%	0.0%	16.7%	0.0%
男性	無回答	4	1	0	0	1	0	0	1	1	0	0	1
			25.0%	0.0%	0.0%	25.0%	0.0%	0.0%	25.0%	25.0%	0.0%	0.0%	25.0%

10 男性と女性の仕事と家庭の関わり方

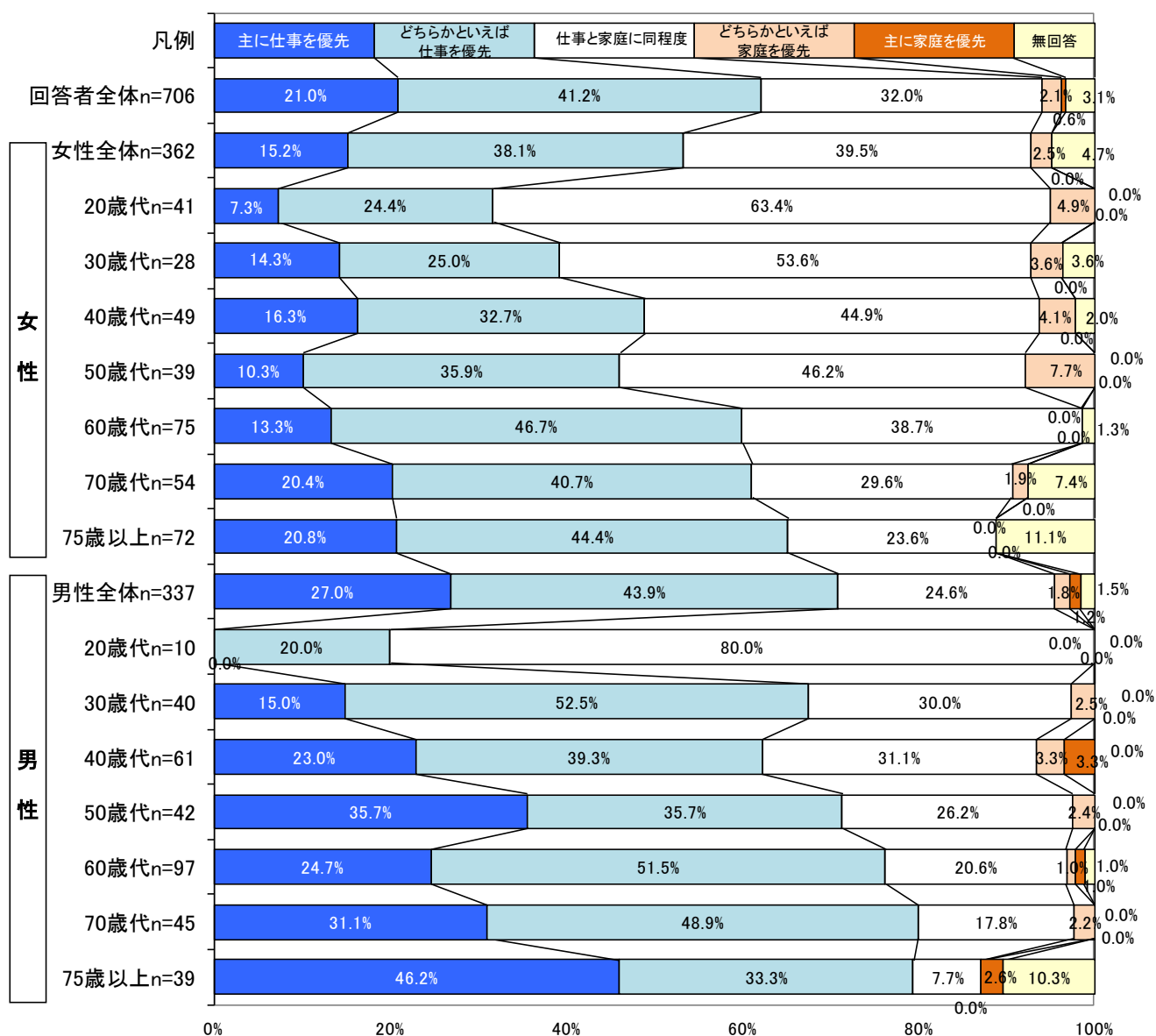
問 12 あなたは男性、女性それぞれの仕事と家庭の関わり方は、どのような形が好ましいと思いますか。(ア)、(イ)それぞれに、次の中から1つずつ選んで○をつけてください。

<全体の結果>

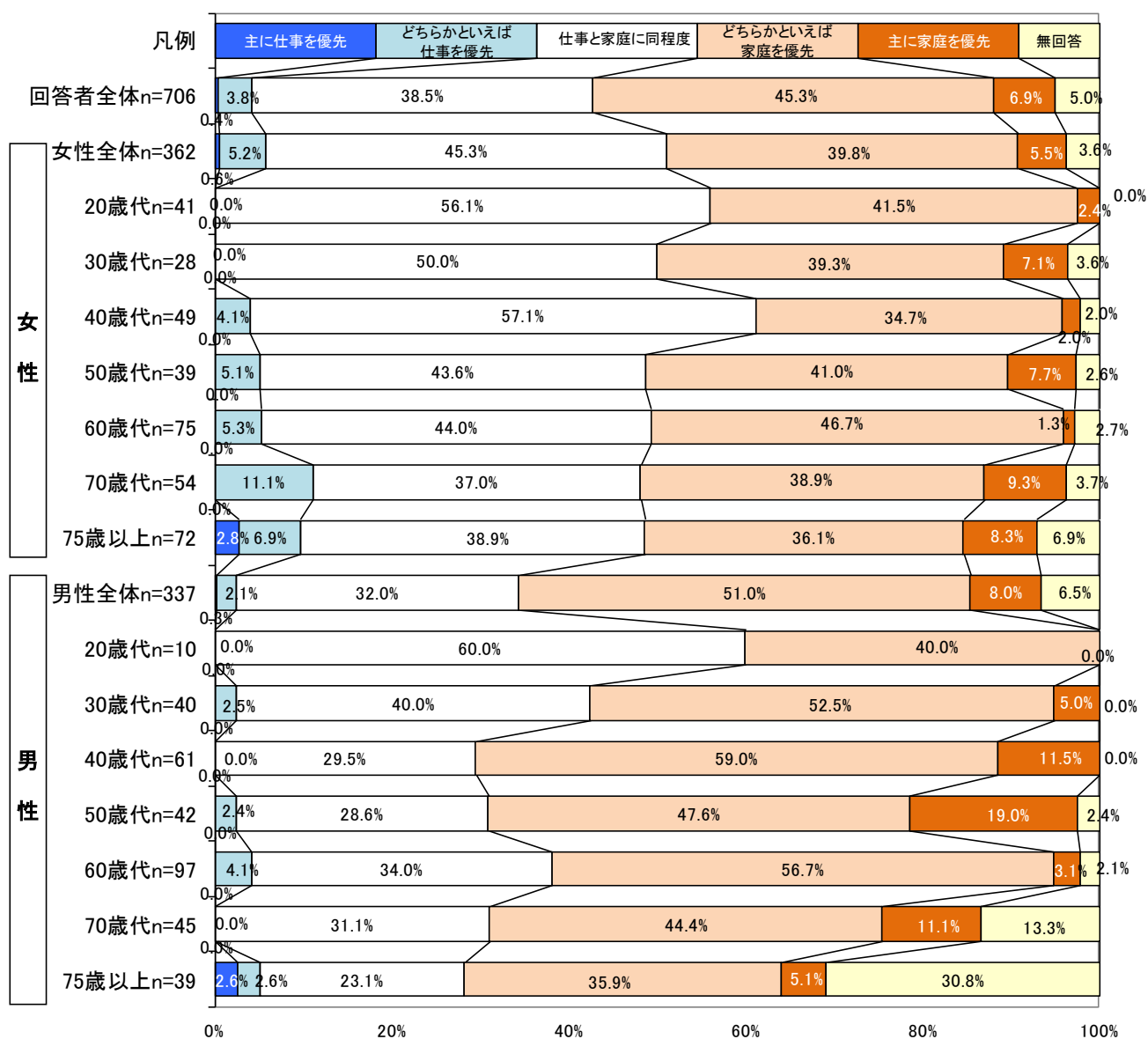
仕事と家庭について(ア)の男性の関わり方をみると、「どちらかといえば仕事を優先する」の41.2%が最も高く、これに「仕事と家庭に同程度かかわる」の32.0%が続いている。「主に仕事を優先する」と「どちらかといえば仕事を優先する」を合わせた『仕事を優先する』層は、全体の62.2%を占めている。

一方、(イ)の女性の関わり方をみると、「どちらかといえば家庭を優先する」の45.3%が最も高く、これに「仕事と家庭に同程度かかわる」の38.5%が続いている。「主に家庭を優先する」と「どちらかといえば家庭を優先する」を合わせた『家庭を優先する』層は全体の52.2%を占め、『仕事を優先する』層は4.2%を占めているに過ぎない。

(ア) 男性の好ましい関わり方



(イ)女性の好ましい関わり方



<前回との比較>

平成 23 年調査と比較して 5 ポイント以上の増減があった項目をみると、(ア)の男性の関わり方では、「どちらかといえば仕事を優先する」(平成 28 年 41.2%、5.4 ポイント減)、「仕事と家庭に同程度かかわる」(平成 28 年 32.0%、5.1 ポイント増)となっている。(イ)の女性の関わり方では、「どちらかといえば家庭を優先する」(平成 28 年 45.3%、5.4 ポイント減)、「仕事と家庭に同程度かかわる」(平成 28 年 38.5%、4.3 ポイント増)となっている。「男性」で家庭との関わりを優先する人が増加する一方、「女性」では家庭だけでなく仕事にかかわる人が増加している。

(ア)男性の好ましい関わり方

	平成23年 n=787 %	平成28年 n=706 %
主に仕事を優先する	20.2	21.0
どちらかといえば仕事を優先する	46.6	41.2
仕事と家庭に同程度かかわる	26.9	32.0
どちらかといえば家庭を優先する	1.4	2.1
主に家庭を優先する	0.8	0.6
無回答	4.1	3.1
合計	100.0	100.0

(イ)女性の好ましい関わり方

	平成23年 n=787 %	平成28年 n=706 %
主に仕事を優先する	0.5	0.4
どちらかといえば仕事を優先する	2.5	3.8
仕事と家庭に同程度かかわる	34.2	38.5
どちらかといえば家庭を優先する	50.7	45.3
主に家庭を優先する	8.1	6.9
無回答	3.9	5.0
合計	100.0	100.0

<性別及び性・年代別にみた結果>

「(ア)男性の好ましい関わり方」

性別にみると、「女性」で「仕事と家庭に同程度かかわる」の割合が高く、「男性」で『仕事優先』の割合が高い。

性・年代別にみると、「女性」の『20～50 歳代』では「仕事と家庭に同程度かかわる」の割合が高く、「男性」の『40 歳代以上』では「主に仕事を優先する」の割合が高い。

「(イ)女性の好ましい関わり方」

性別にみると、「女性」で「仕事と家庭に同程度かかわる」の割合が高く、「男性」で「どちらかといえば家庭を優先する」の割合が高い。

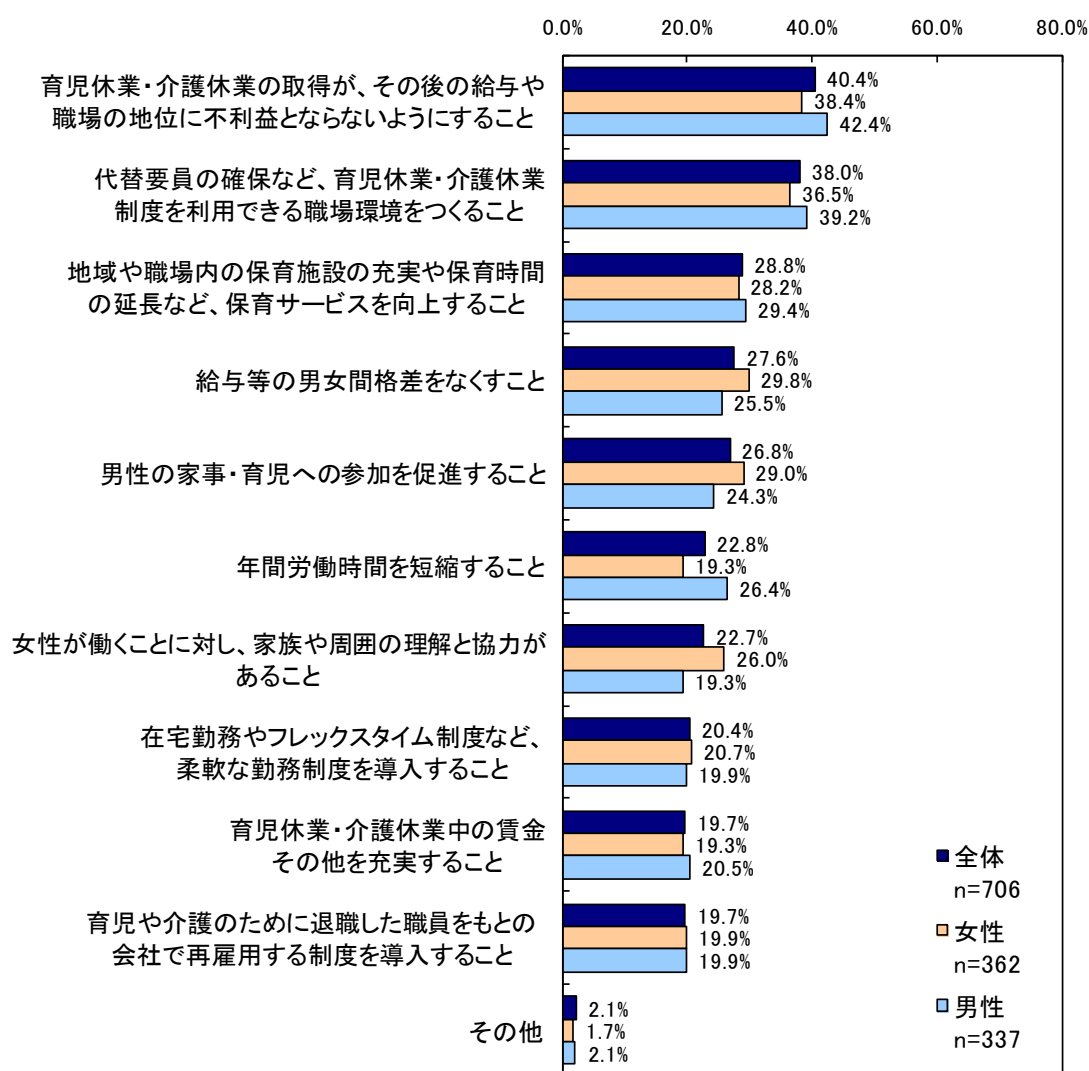
性・年代別にみると、「女性」の『20～40 歳代』では「仕事と家庭に同程度かかわる」の割合が高く、「男性」の『30 歳代以上』では「どちらかといえば家庭を優先する」の割合が高い。

1 1 仕事と家庭の両立のための条件

問 13 あなたは、男女が共に仕事と家庭の両立をしていくためには、どのような条件が必要だと思いますか。次の中から3つまで選んで○をつけてください。

<全体の結果>

男女が共に仕事と家庭の両立をしていくための条件をみると、「育児休業・介護休業の取得が、その後の給与や職場の地位に不利益とならないようにすること」の40.4%が最も高く、これに「代替要員の確保など、育児休業・介護休業制度を利用できる職場環境をつくること」の38.0%が続いている。以下、回答割合の高い方から、「地域や職場内の保育施設の充実や保育時間の延長など、保育サービスを向上すること」(28.8%)、「給与等の男女間格差をなくすこと」(27.6%)、「男性の家事・育児への参加を促進すること」(26.8%)の順となっている。



＜前回との比較＞

平成 23 年調査と比較して 5 ポイント以上の増加した項目をみると、「育児休業・介護休業の取得が、その後の給与や職場の地位に不利益とならないようにすること」（平成 28 年 40.4%、11.7 ポイント増）、「給与等の男女間格差をなくすこと」（平成 28 年 27.6%、5.4 ポイント増）となっている。一方、5 ポイント以上減少した項目をみると、「女性が働くことに対し、家族や周囲の理解と協力があること」（平成 28 年 22.7%、15.2 ポイント減）、「男性の家事・育児への参加を促進すること」（平成 28 年 26.8%、7.9 ポイント減）となっている。平成 23 年調査では男性や家族などの理解促進や保育サービスの充実を求める条件が上位となっていたが、今回の調査では職場環境の改善を求める内容が上位となっている。

	平成23年 n=787 %	平成28年 n=706 %
給与等の男女間格差をなくすこと	22.2	27.6
年間労働時間を短縮すること	19.6	22.8
男性の家事・育児への参加を促進すること	34.7	26.8
代替要員の確保など、育児休業・介護休業制度を利用できる職場環境をつくること	34.6	38.0
育児休業・介護休業中の賃金その他を充実すること	17.0	19.7
育児休業・介護休業の取得が、その後の給与や職場の地位に不利益とならないようにすること	28.7	40.4
地域や職場内の保育施設の充実や保育時間の延長など、保育サービスを向上すること	32.7	28.8
育児や介護のために退職した職員をもとの会社で再雇用する制度を導入すること	20.2	19.7
在宅勤務やフレックスタイム制度など、柔軟な勤務制度を導入すること	20.8	20.4
女性が働くことに対し、家族や周囲の理解と協力があること	37.9	22.7
その他	1.1	2.1

＜性別及び性・年代別にみた結果＞

性別にみると、「女性」では「男性の家事・育児への参加を促進すること」と「女性が働くことに対し、家族や周囲の理解と協力があること」の割合が高く、「男性」では「年間労働時間を短縮すること」の割合が高い。

性・年代別にみると、「女性」の『20～30 歳代』では「育児休業・介護休業中の賃金その他を充実すること」と「地域や職場内の保育施設の充実や保育時間の延長など、保育サービスを向上すること」、「在宅勤務やフレックスタイム制度など、柔軟な勤務制度を導入すること」の割合が高い。同じく『30～60 歳代』では「男性の家事・育児への参加を促進すること」、「50～70 歳代』では「代替要員の確保など、育児休業・介護休業制度を利用できる職場環境をつくること」の割合が高くなっている。

一方、「男性」の「30 歳代」では「育児休業・介護休業中の賃金その他を充実すること」と「地域や職場内の保育施設の充実や保育時間の延長など、保育サービスを向上すること」の割合が高くなっている。また、「50 歳代」では「給与等の男女間格差をなくすこと」と「年間労働時間を短縮すること」、「育児休業・介護休業中の賃金その他を充実すること」、「育児休業・介護休業の取得が、その後の給与や職場の地位に不利益とならないようにすること」、「育児や介護のために退職した職員をもとの会社で再雇用する制度を導入すること」、「在宅勤務やフレックスタイム制度など、柔軟な勤務制度を導入すること」の割合が高く、職場経営や改善に関わることを多く挙げている。

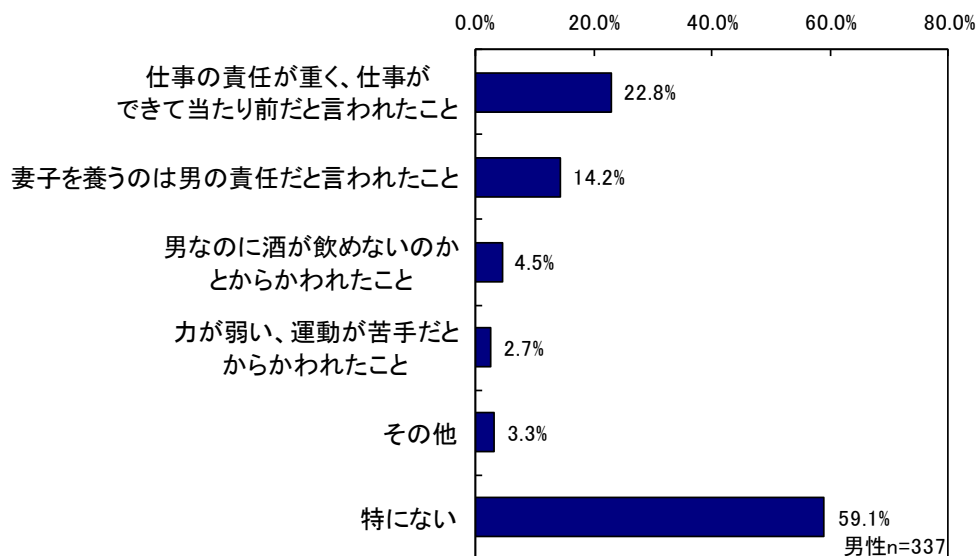
		合計	給与等の男女間格差をなくすこと	年間労働時間を短縮すること	男性の家事・育児への参加を促進すること	代替要員の確保など、育児・介護休業制度を利用できる職場環境をつくること	育児休業・介護休業中の賃金その他の充実すること	育児休業・介護休業の取得が、その後の給与や職場の地位に不利益とならないようにすること	育児休業・介護休業の取得が、その後の給与や職場の地位に不利益とならないようにすること	地域や職場内の保育施設の充実や保育時間の延長など、保育サービスの向上すること	育児や介護のために退職した職員をとの会社で再雇用する制度を導入すること	在宅勤務やフレックスタイト制など、柔軟な勤務制度を導入すること	女性が働くことに対し、家族や周囲の理解と協力が、あること	その他
全体		706	195	161	189	268	139	285	203	139	144	160	15	
			27.6%	22.8%	26.8%	38.0%	19.7%	40.4%	28.8%	19.7%	20.4%	22.7%	2.1%	
女性	小計	362	108	70	105	132	70	139	102	72	75	94	6	
			29.8%	19.3%	29.0%	36.5%	19.3%	38.4%	28.2%	19.9%	20.7%	26.0%	1.7%	
	20歳代	41	13	14	4	11	10	19	17	6	11	8	2	
			31.7%	34.1%	9.8%	26.8%	24.4%	46.3%	41.5%	14.6%	26.8%	19.5%	4.9%	
	30歳代	28	10	4	12	4	11	5	13	1	11	2	1	
			35.7%	14.3%	42.9%	14.3%	39.3%	17.9%	46.4%	3.6%	39.3%	7.1%	3.6%	
	40歳代	49	14	11	18	16	10	17	10	8	12	14	2	
			28.6%	22.4%	36.7%	32.7%	20.4%	34.7%	20.4%	16.3%	24.5%	28.6%	4.1%	
	50歳代	39	13	3	12	17	7	22	14	9	7	7	0	
			33.3%	7.7%	30.8%	43.6%	17.9%	56.4%	35.9%	23.1%	17.9%	17.9%	0.0%	
	60歳代	75	23	16	24	34	14	28	18	15	20	19	0	
			30.7%	21.3%	32.0%	45.3%	18.7%	37.3%	24.0%	20.0%	26.7%	25.3%	0.0%	
	70歳代	54	18	12	15	26	6	24	13	15	8	19	0	
			33.3%	22.2%	27.8%	48.1%	11.1%	44.4%	24.1%	27.8%	14.8%	35.2%	0.0%	
75歳以上	72	17	10	19	23	12	24	16	17	6	24	1		
		23.6%	13.9%	26.4%	31.9%	16.7%	33.3%	22.2%	23.6%	8.3%	33.3%	1.4%		
無回答	4	0	0	1	1	0	0	1	1	0	1	0		
		0.0%	0.0%	25.0%	25.0%	0.0%	0.0%	25.0%	25.0%	0.0%	25.0%	0.0%		
男性	小計	337	86	89	82	132	69	143	99	67	67	65	7	
			25.5%	26.4%	24.3%	39.2%	20.5%	42.4%	29.4%	19.9%	19.9%	19.3%	2.1%	
	20歳代	10	0	5	4	4	4	5	3	1	1	2	0	
			0.0%	50.0%	40.0%	40.0%	40.0%	50.0%	30.0%	10.0%	10.0%	20.0%	0.0%	
	30歳代	40	10	8	11	16	10	14	17	5	9	7	3	
			25.0%	20.0%	27.5%	40.0%	25.0%	35.0%	42.5%	12.5%	22.5%	17.5%	7.5%	
	40歳代	61	13	18	19	23	11	23	18	8	15	12	2	
			21.3%	29.5%	31.1%	37.7%	18.0%	37.7%	29.5%	13.1%	24.6%	19.7%	3.3%	
	50歳代	42	14	12	8	15	11	21	7	11	12	4	1	
			33.3%	28.6%	19.0%	35.7%	26.2%	50.0%	16.7%	26.2%	28.6%	9.5%	2.4%	
	60歳代	97	24	22	19	49	15	38	35	21	20	24	0	
			24.7%	22.7%	19.6%	50.5%	15.5%	39.2%	36.1%	21.6%	20.6%	24.7%	0.0%	
	70歳代	45	14	15	10	14	8	19	11	11	8	7	1	
			31.1%	33.3%	22.2%	31.1%	17.8%	42.2%	24.4%	24.4%	17.8%	15.6%	2.2%	
75歳以上	39	10	8	10	11	10	21	7	9	2	8	0		
		25.6%	20.5%	25.6%	28.2%	25.6%	53.8%	17.9%	23.1%	5.1%	20.5%	0.0%		
無回答	3	1	1	1	0	0	2	1	1	0	1	0		
		33.3%	33.3%	33.3%	0.0%	0.0%	66.7%	33.3%	33.3%	0.0%	33.3%	0.0%		

12 日常生活で男性がつらいと感じること

問 14 男性にお聞きします。あなたは、日常生活の中で「男もつらい」と感じたことがありますか。次の中からあてはまるものすべてに○をつけてください。

<全体の結果>

男性に限定して、日常生活の中で「男もつらい」と感じたことをみると、「仕事の責任が重く、仕事ができて当たり前だと言われたこと」の 22.8% が最も高く、これに「妻子を養うのは男の責任だと言われたこと」の 14.2% が続いている。仕事や家計に関わる内容に「つらい」と感じている人の割合が高い。



<前回との比較>

平成 23 年調査と比較して 5 ポイント以上の増減した項目をみると、「特にない」(平成 28 年 59.1%、10.2 ポイント増)、「妻子を養うのは男の責任だと言われたこと」(平成 28 年 14.2%、9.2 ポイント減)となっている。「妻子を養うのは男の責任だと言われたこと」が減少した分、「特にない」の割合が増加している。

	平成23年 n=333 %	平成28年 n=337 %
妻子を養うのは男の責任だと言 われたこと	23.4	14.2
男なのに酒が飲めないのかと からかわれたこと	3.6	4.5
仕事の責任が重く、仕事ができ て当たり前だと言われたこと	24.6	22.8
力が弱い、運動が苦手だと からかわれたこと	2.4	2.7
その他	1.2	3.3
特にない	48.9	59.1

<年代別にみた結果>

年代別にみると、「30 歳代」は「特にない」の割合が 50.0%で他の年代と比べ最も低く、その分、「仕事の責任が重く、仕事ができたり前だと言われたこと」と「妻子を養うのは男の責任だと言われたこと」、「力が弱い、運動が苦手だとからかわれたこと」の割合が高くなっている。

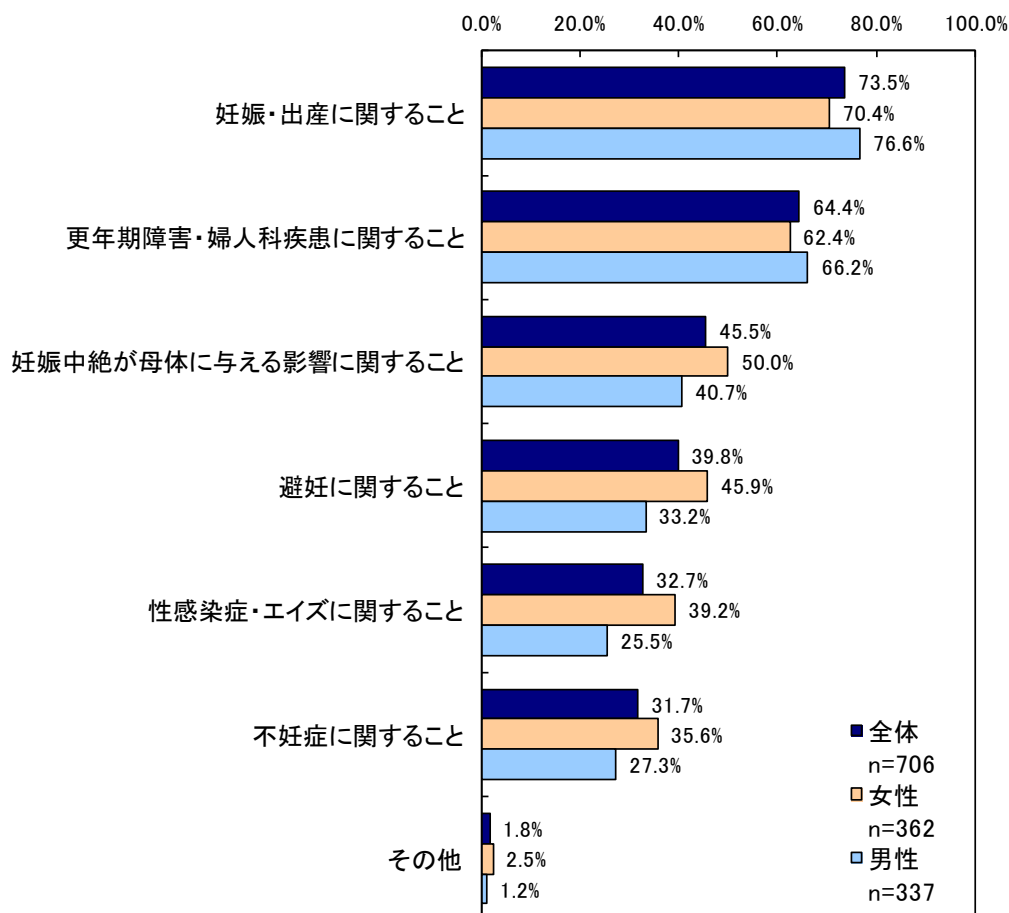
		合 計	わ 妻 子 を 養 う の は 男 の 責 任 だ と 言 わ れ た こ と	ら 男 の な の に 酒 が 飲 め な い の か と か	て 仕 事 の 責 任 が 重 く 、 仕 事 が で き な か ら い と 言 わ れ た こ と	か 力 が 弱 い こ と 、 運 動 が 苦 手 だ と か ら か わ れ た こ と	そ の 他	特 に な い
男 性	小計	337	48	15	77	9	11	199
			14.2%	4.5%	22.8%	2.7%	3.3%	59.1%
	20歳代	10	1	1	2	0	0	6
			10.0%	10.0%	20.0%	0.0%	0.0%	60.0%
	30歳代	40	11	2	12	4	2	20
			27.5%	5.0%	30.0%	10.0%	5.0%	50.0%
	40歳代	61	7	2	17	3	3	34
			11.5%	3.3%	27.9%	4.9%	4.9%	55.7%
	50歳代	42	7	2	10	0	4	22
			16.7%	4.8%	23.8%	0.0%	9.5%	52.4%
	60歳代	97	11	4	19	2	1	63
			11.3%	4.1%	19.6%	2.1%	1.0%	64.9%
	70歳代	45	5	2	9	0	1	29
			11.1%	4.4%	20.0%	0.0%	2.2%	64.4%
	75歳以上	39	6	2	8	0	0	22
			15.4%	5.1%	20.5%	0.0%	0.0%	56.4%
	無回答	3	0	0	0	0	0	3
			0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%

13 女性の体を保護するために知っておいたほうがよいこと

問 15 あなたは、女性の体を保護するために、男女とも知っておいたほうがよいことは、どのようなことだと思いますか。次の中からあてはまるものすべてに○をつけてください。

<全体の結果>

女性の体を保護するために男女とも知っておいたほうがよいと思うことについては、「妊娠・出産に関すること」の 73.5%が最も高く、これに「更年期障害・婦人科疾患に関すること」の 64.4%が続いている。以下、「その他」を除くすべての選択肢で 30%を超えている。



<前回との比較>

平成 23 年調査と比較して 5 ポイント以上の増減した項目はなく、大きな変動は認められない。

	平成23年 n=787 %	平成28年 n=706 %
妊娠・出産に関すること	70.8	73.5
更年期障害・婦人科疾患に関すること	67.9	64.4
性感染症・エイズに関すること	37.4	32.7
妊娠中絶が母体に与える影響に関すること	47.9	45.5
避妊に関すること	40.9	39.8
不妊症に関すること	29.2	31.7
その他	0.8	1.8

<性別及び性・年代別にみた結果>

性別にみると、「女性」では「性感染症・エイズに関すること」と「妊娠中絶が母体に与える影響に関すること」、「避妊に関すること」、「不妊症に関すること」と、具体的な内容の割合が高く、「男性」では「妊娠・出産に関すること」の割合が高い。

性・年代別にみると、「女性」の「20歳代」では「更年期障害・婦人科疾患に関すること」を除くすべての項目の割合が高くなっている。同じく「40歳代」では「更年期障害・婦人科疾患に関すること」を含むすべての項目の割合が高くなっている。

一方、「男性」の「30歳代」では「妊娠・出産に関すること」と「妊娠中絶が母体に与える影響に関すること」、「避妊に関すること」、「不妊症に関すること」の割合が高く、「40歳代」では「妊娠・出産に関すること」と「更年期障害・婦人科疾患に関すること」、「不妊症に関すること」の割合が高くなっている。

			妊娠・出産に関すること	更年期障害・婦人科疾患に関すること	性感染症・エイズに関すること	妊娠中絶が母体に与える影響に関すること	避妊に関すること	不妊症に関すること	その他
全体		706	519	455	231	321	281	224	13
			73.5%	64.4%	32.7%	45.5%	39.8%	31.7%	1.8%
女性	小計	362	255	226	142	181	166	129	9
			70.4%	62.4%	39.2%	50.0%	45.9%	35.6%	2.5%
	20歳代	41	39	23	25	31	32	24	4
			95.1%	56.1%	61.0%	75.6%	78.0%	58.5%	9.8%
	30歳代	28	21	16	9	13	15	13	0
			75.0%	57.1%	32.1%	46.4%	53.6%	46.4%	0.0%
	40歳代	49	39	35	19	26	25	22	1
			79.6%	71.4%	38.8%	53.1%	51.0%	44.9%	2.0%
	50歳代	39	28	32	14	17	16	15	3
			71.8%	82.1%	35.9%	43.6%	41.0%	38.5%	7.7%
	60歳代	75	48	49	25	32	35	21	0
			64.0%	65.3%	33.3%	42.7%	46.7%	28.0%	0.0%
70歳代	54	40	33	25	29	20	16	1	
		74.1%	61.1%	46.3%	53.7%	37.0%	29.6%	1.9%	
75歳以上	72	37	38	24	33	22	18	0	
		51.4%	52.8%	33.3%	45.8%	30.6%	25.0%	0.0%	
無回答	4	3	0	1	0	1	0	0	
		75.0%	0.0%	25.0%	0.0%	25.0%	0.0%	0.0%	
男性	小計	337	258	223	86	137	112	92	4
			76.6%	66.2%	25.5%	40.7%	33.2%	27.3%	1.2%
	20歳代	10	10	1	5	7	5	3	0
			100.0%	10.0%	50.0%	70.0%	50.0%	30.0%	0.0%
	30歳代	40	38	23	15	23	26	22	1
			95.0%	57.5%	37.5%	57.5%	65.0%	55.0%	2.5%
	40歳代	61	54	49	19	27	25	27	0
			88.5%	80.3%	31.1%	44.3%	41.0%	44.3%	0.0%
	50歳代	42	27	28	10	14	15	12	1
			64.3%	66.7%	23.8%	33.3%	35.7%	28.6%	2.4%
	60歳代	97	73	66	25	37	26	20	1
			75.3%	68.0%	25.8%	38.1%	26.8%	20.6%	1.0%
70歳代	45	35	30	8	16	11	6	1	
		77.8%	66.7%	17.8%	35.6%	24.4%	13.3%	2.2%	
75歳以上	39	19	25	3	12	3	2	0	
		48.7%	64.1%	7.7%	30.8%	7.7%	5.1%	0.0%	
無回答	3	2	1	1	1	1	0	0	
		66.7%	33.3%	33.3%	33.3%	33.3%	0.0%	0.0%	